

小城市生涯学習推進計画

～人生 100 年、みんなでつむぐ小城市の未来～



令和5年3月

小城市教育委員会

目 次

1. 生涯学習推進計画策定にあたって	1
■ 計画策定の目的	
■ 計画の位置づけ	
■ 計画の期間	
2. 生涯学習推進計画の方向性	2
■ 基本目標	
■ 基本方針	
■ 体系図	
3. 生涯学習を取り巻く状況	5
■ 生涯学習とは	
■ 国・県における生涯学習の動向	
4. 小城市の生涯学習の現状	8
■ 生涯学習に関する市民アンケート調査から	
■ 前計画の振り返り	
5. 基本方針と施策	17
基本方針 1 青少年の健全育成	
基本方針 2 生涯学習・生涯スポーツの充実	
基本方針 3 歴史・文化の継承と文化財の保存	
6. 関連資料	24
・小城市スポーツ推進計画（抜粋）	
・生涯学習関連施設の概要	
・生涯学習市民アンケート結果	

1. 生涯学習推進計画策定にあたって

■ 計画策定の目的

小城市教育委員会では、平成30年3月に策定した「小城市生涯学習推進計画（平成30年度から令和4年度）」に基づき、生涯学習の推進に努めてきました。

この間、人生100年時代・超スマート社会（Society5.0）の到来により、生涯学習環境が大きく変化してきており、世界的なSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みをはじめ、グローバル化や多極化、ICT（情報通信技術）が一層進展する一方で、インターネットやSNSによる犯罪やトラブルも増えているのが現状です。また、新型コロナウイルス感染症は、多くの困難をもたらすとともに、超スマート社会への大きな転機となり、デジタルがもたらす学びにおける可能性、また、オンラインであれば空間の制約を越えて、世界とつながることができる時代となってきました。

このような時代において、地域社会の一員として自らの個性を生かして幸せに生活でき、人と人がつながり合いながら、地域で子どもを育てる仕組みや地域の教育力の向上など、地域課題の解決に向け、市民の主体的な活動を支え、学習機会の充実、学習環境を整備することで、社会教育・家庭教育の充実を図り、市民の皆さんが生涯にわたって学びつづけることができるよう「小城市生涯学習推進計画」を策定します。

■ 計画の位置づけ

第3次小城市生涯学習推進計画（以下、「本計画」という。）は、目指す将来像を「誇郷^{きょうこう}幸輝」～みんなの笑顔が輝き幸せを感じるふるさと小城市～と定めた「第2次小城市総合計画」及び「城創伝心^{じょうそうでんしん}」“小城の歴史と伝統を受け継ぎ、文化を創造する豊かな心を育み後世へ伝える人づくり”を基本目標とする「第3次小城市教育振興基本計画」を上位計画とし、その将来像を実現するために、社会教育を中心とした生涯学習推進の指針となる計画とします。

■ 計画の期間

本計画は、令和5年度から5年間を計画期間とします。

ただし、社会情勢の変化、市民ニーズの多様化、国・県の動きなどを踏まえながら、必要に応じて計画の見直しを行います。

2. 生涯学習推進計画の方向性

■ 基本目標

小城市教育委員会は、学校や公民館等の教育機関、家庭及び地域社会と連携を密にし、市民一人一人が生涯にわたって能動的に学びつづけ、健全な社会の構成員として、郷土の歴史と伝統を受け継ぎ、豊かな人間性を培い、未来へ向けて高い志と理想を持って、困難に立ち向かい克服していくための力である「生きる力」を育み、国際的視野に立ち郷土や国家を担う責任を自覚し、文化の創造と社会の発展に貢献できるよう、心身ともにたくましい人間力を身につけた市民の育成に努めます。

本計画の基本目標を「人生100年、みんなでつむぐ小城市の未来」と定め、計画的かつ効果的に推進を図ります。

【基本目標】

人生100年、みんなでつむぐ小城市の未来



この子達の未来へ！！

津の里ミュージアム

■ 基本方針

市民が、生涯にわたって心豊かに生きていくため、自発的な課題意識をもち、主体的な学習活動やスポーツ活動を通じ、互いに認め合い、自己実現を図るとともに、地域社会への誇りを持ちながら、共に支えあい、高めあい、積極的に地域社会づくりに参画することができる生涯学習のまちづくりを体系的に推進していきます。

そのため、第3次小城市教育振興基本計画に従い、「青少年の健全育成」、「生涯学習・生涯スポーツの充実」、「歴史・文化の継承と文化財の保存」の3つを基本方針と定めます。

【基本方針】

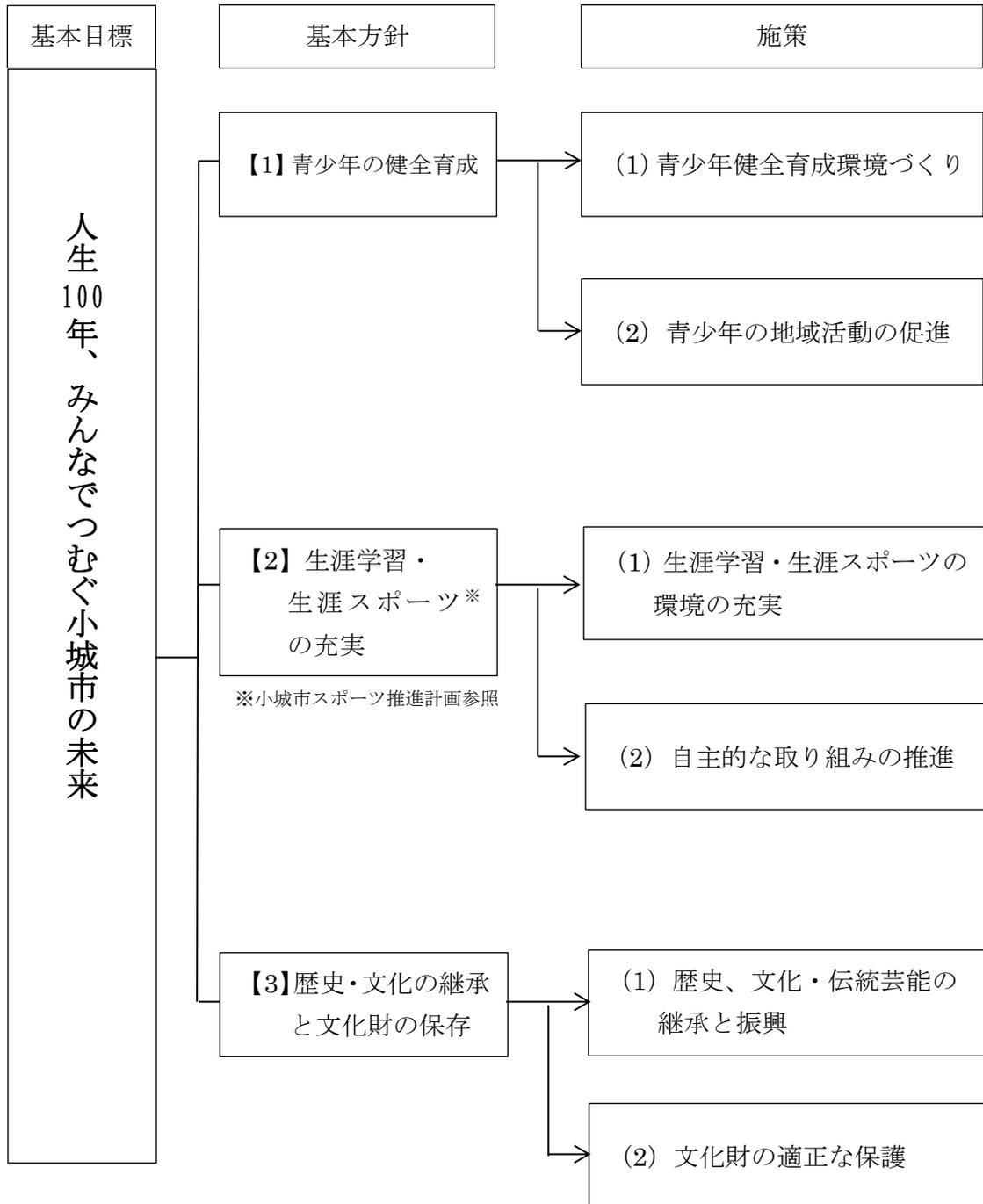
- 青少年の健全育成
- 生涯学習・生涯スポーツの充実
- 歴史・文化の継承と文化財の保存



自分自身を磨いて

ふれあい芸術まつり

■ 体系図

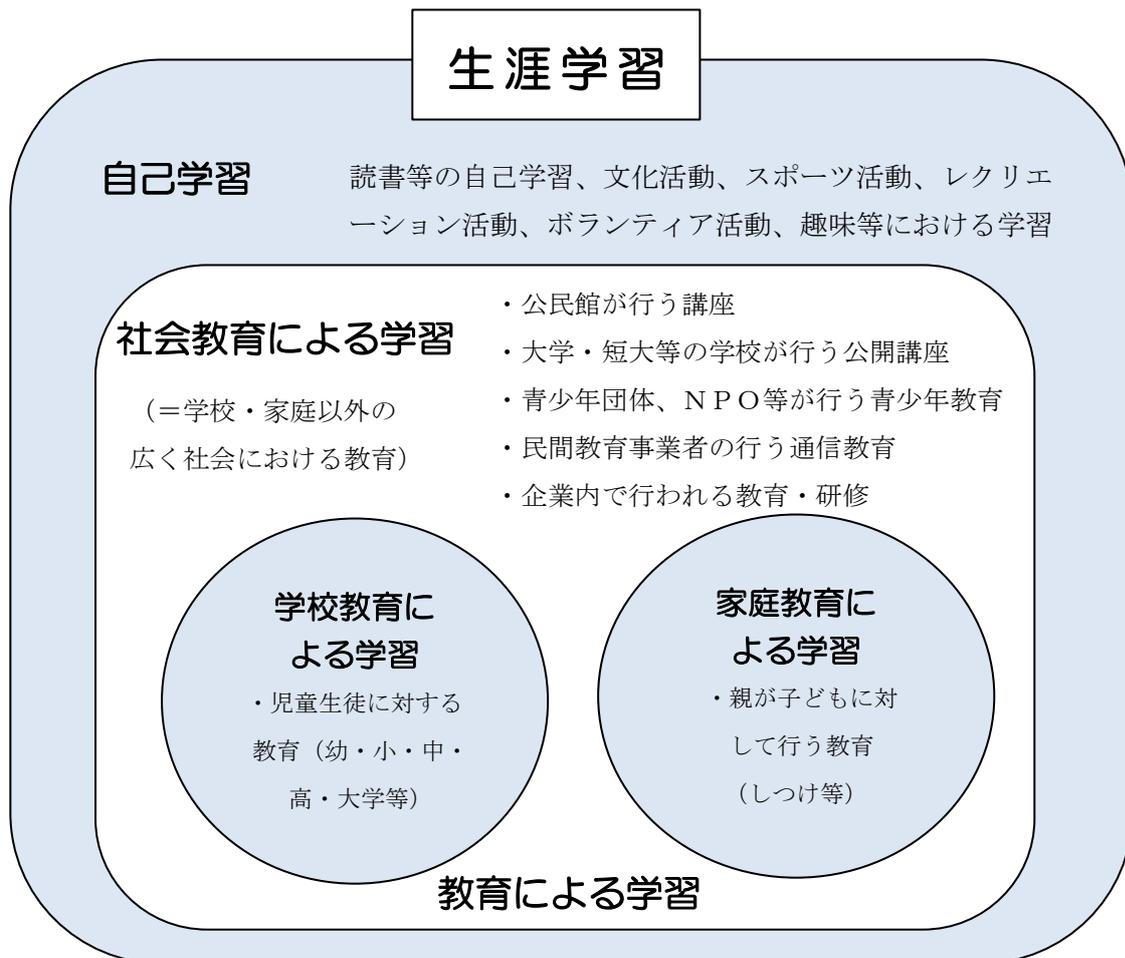


3. 生涯学習を取り巻く状況

■ 生涯学習とは

生涯学習とは、生涯を通じて行うあらゆる学習活動のことです。例えば、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場所や機会において何かを学び得ることも生涯学習に含まれます。

また、「生涯学習社会」とは、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会」(教育基本法第3条)であるとされています。



■ 国・県における生涯学習の動向

国の第3期教育振興基本計画においては、教育を通じた「生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」の最大化」を教育政策の中心課題とし、人生100年時代・超スマート社会(Society5.0)の到来といった2030年以降の社会の変化を見据えた教育政策の在り方を示しました。生涯学習の推進に当たっては、若者から高齢者まで多様な世代が学び始めるきっかけづくりや学習成果の可視化、仲間とつながりながら楽しく学び、活動できる環境の整備を図ることが明記されました。

また、全ての住民が地域社会の構成員として社会参加できるような社会的包摂への寄与、社会の変化に対応した学習機会の提供が期待され、人々が孤立することなく生きがいを持って社会に参加し、地域社会の活力を維持・向上させることとなるよう、人々の暮らしの向上と社会の持続的発展に向けた地域課題解決のための学びの推進を図ることが必要と考えられています。

そのほか、家庭教育においては、子どもが安心できる家庭環境づくりとともに、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりが一層求められており、このため、学校や子育て経験者をはじめとした地域人材など、地域の多様な主体が連携協力して、大人と子どもが触れ合いながら充実した時間を過ごすための環境づくりを推進されています。

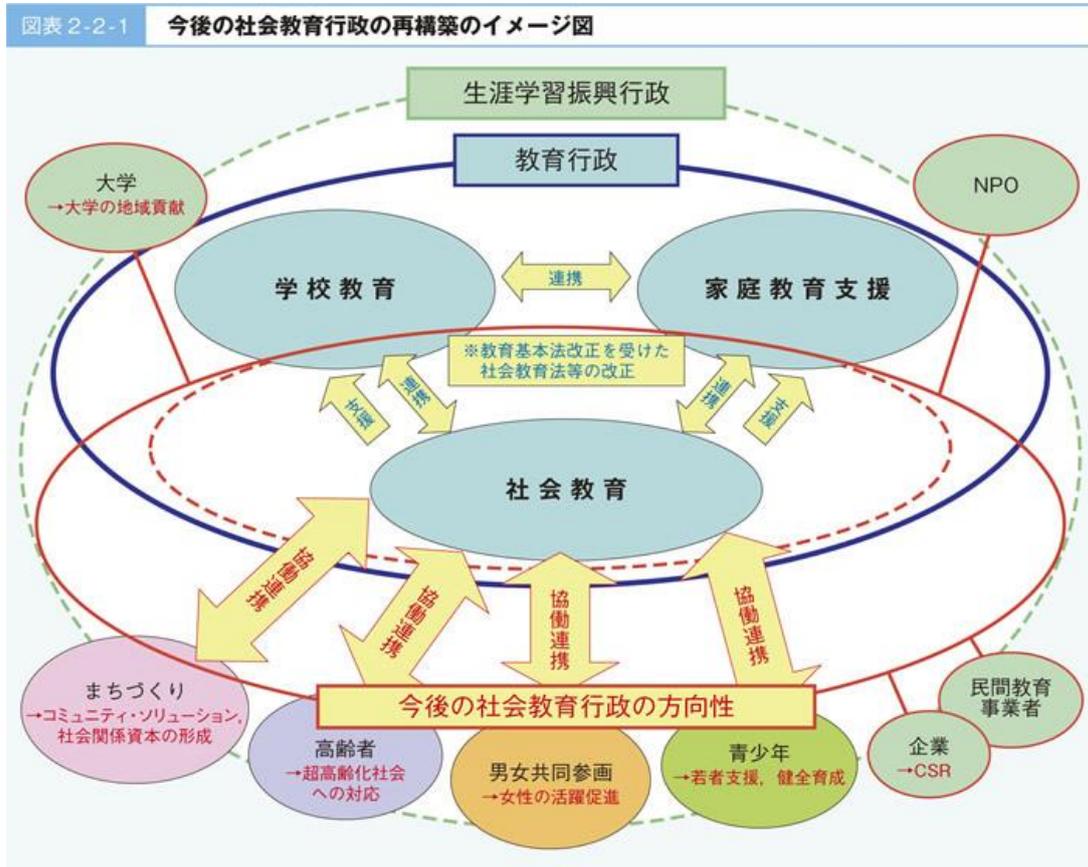
佐賀県では、佐賀の目指す将来の姿を見据え、その実現に必要な4年間の方策を明らかにするものとして、『一佐賀県総合計画 2019—人を大切に、世界に誇れる佐賀づくりプラン』を令和元年7月に策定され、生涯学習については、「学びたい人がライフステージに応じて、自ら主体的に学ぶことができ、学んだことを活かして活躍することができている」という姿を目指す将来像として掲げられています。

そこで、様々な学びの機会を充実させ、生涯にわたって学び続けることができる環境づくりに取り組むとともに、自ら考え行動し未来を開拓する人材の育成を目指す講座など、多様な学びの場を提供されています。

また、市町関係課職員、公民館職員等の生涯学習・社会教育関係者を対象とした講座の開催など、資質向上を図ることとしています。

【これからの社会教育行政に関する関係図】

(出典：文部科学省ホームページ (<http://www.mext.go.jp/>))



4. 小城市の生涯学習の現状

■ 生涯学習に関する市民アンケート調査から（抜粋）

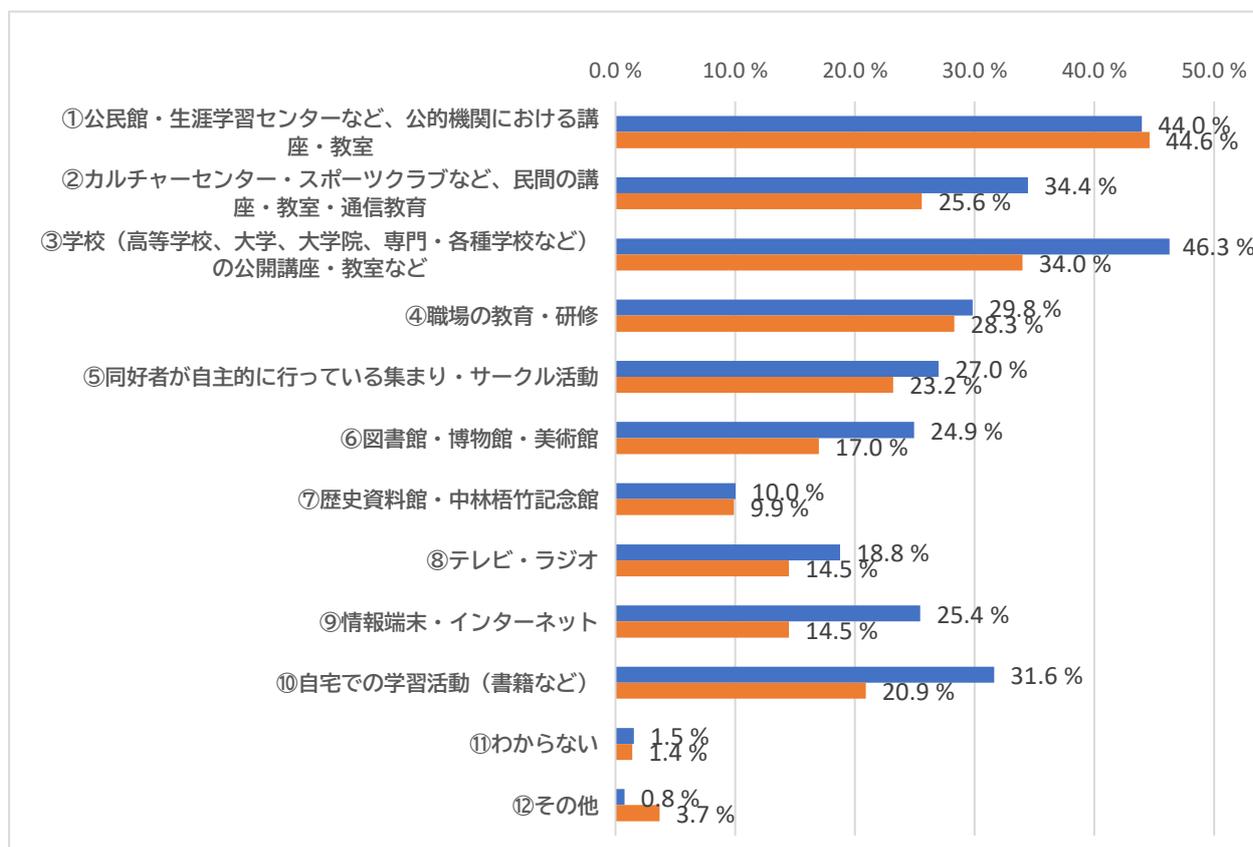
令和4年度実施：対象者小城市在住の16歳～79歳の男女2,000人
：回答者数563人（28.2%）

【生涯学習の形態】

問 どのような場所や形態で「生涯学習」をしたことがありますか。

（設問対象：生涯学習をしたことがある389人（複数回答可））

【上段：令和4年度 下段：平成28年度】



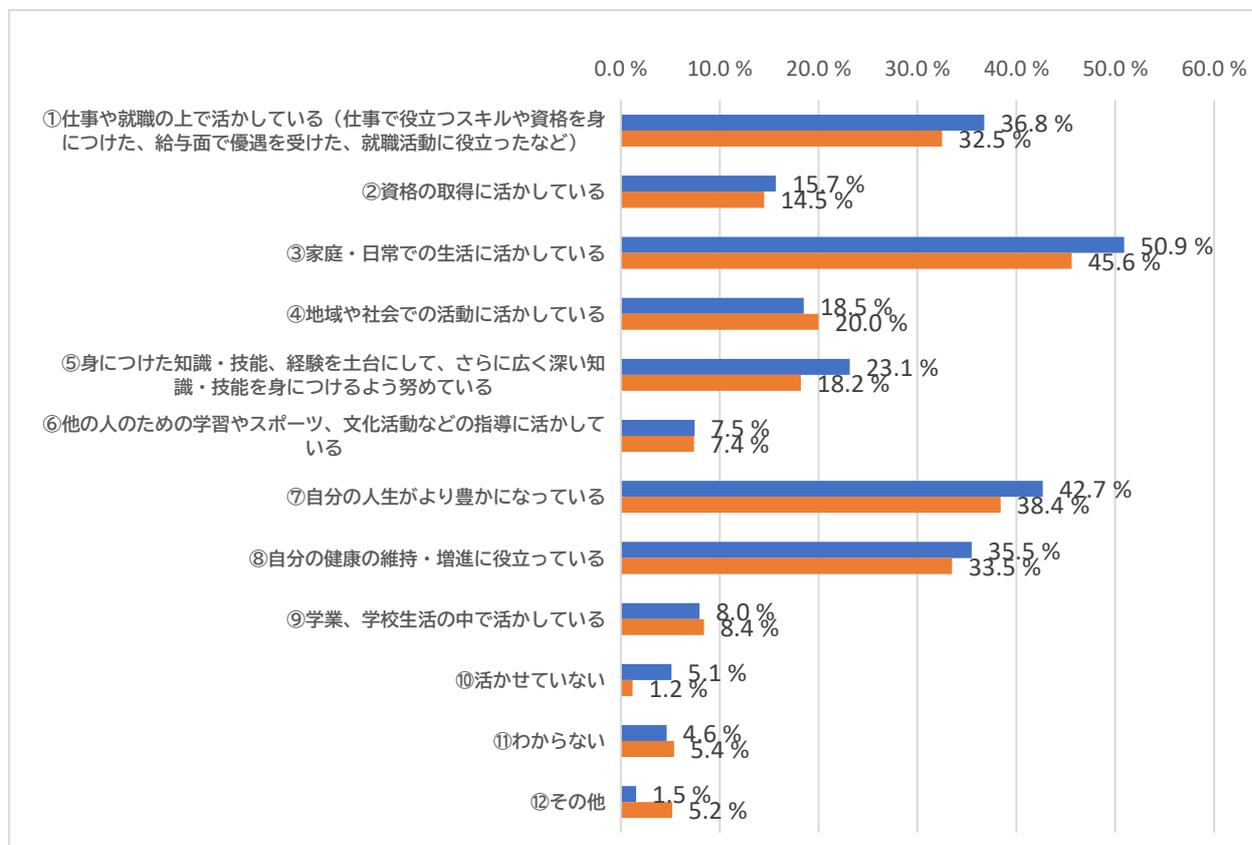
場所や形態は、「③学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の公開講座・教室」が最も多く、次に「①公民館・生涯学習センターなど公的機関における講座・教室」となっています。学校や公的機関で開催される講座・教室は、生涯学習活動を行うにあたり、場所も含め参加しやすい傾向にあるのではないかと考えられます。

また、「⑩自宅での学習活動（書籍など）」が平成28年度実施アンケートよりも10.7%増加、特に60歳以上の割合が45.5%と高く、新型コロナウイルス感染症の影響により外出を控えていることがうかがえます。

【生涯学習の知識・技能、経験の活かし方】

問 「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように活かしていますか。（設問対象：生涯学習をしたことがある 389 人（複数回答可））

【上段：令和 4 年度 下段：平成 28 年度】



身につけた知識・技能や経験をどのように活かしているかは、「③家庭・日常の生活に活かしている」が最も多く、次に「⑦自分の人生がより豊かになっている」、3番目に「①仕事や就職の上で活かしている」となっており、生涯学習活動を行うことで身につけた知識や技能は、自身の生活や仕事で活かされていることがうかがえます。

年齢別でみると「③家庭や日常生活に活かしている」が、30代、40代及び70歳以上、「⑦自分の人生がより豊かになっている」は60歳以上、「①仕事や就職の上で活かしている」だと50代が一番多く、年齢ごとに得てきた知識や経験の活かし方・活かす場所が異なることが考えられます。

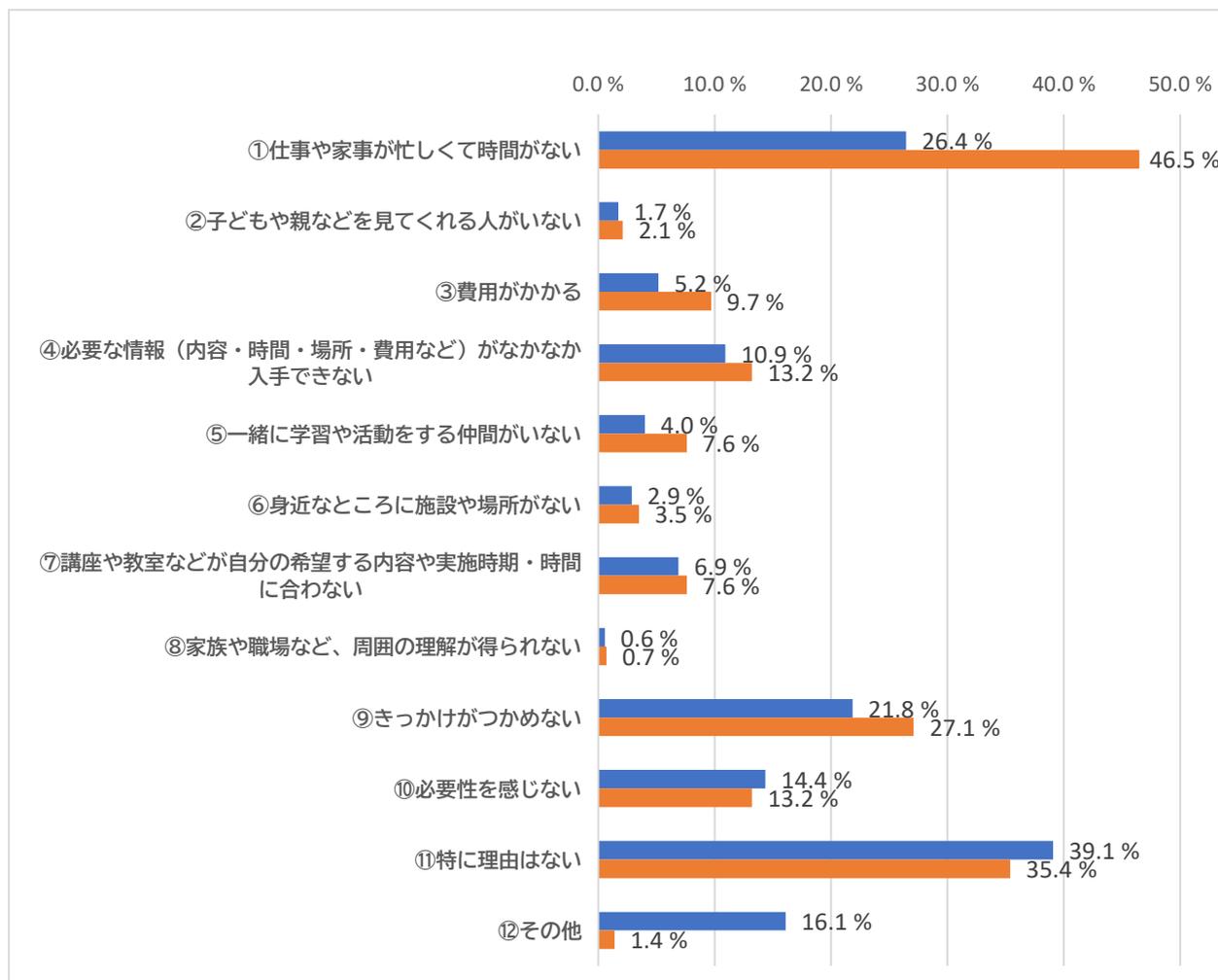
小城市では協働によるまちづくりを目指していますが、「④地域や社会での活動に活かしている」では、平成28年度実施アンケート20.0%から18.5%と1.5%減少しており、生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能を活かせる場を作り、増やしていくことができる仕組みの構築が今後の課題となってきます。

【生涯学習を行っていない理由】

問 「生涯学習」をしたことがない理由は何ですか。

(設問対象：生涯学習をしたことがない 174 人 (複数回答可))

【上段：令和 4 年度 下段：平成 28 年度】



「生涯学習」をしたことがない理由は、「⑪特に理由はない」が最も多く、次に「①仕事や家事が忙しくて時間がない」、3 番目に「⑨きっかけがつかめない」となっています。

平成 28 年度実施アンケートと比較すると、「⑪特に理由はない」が 35.4%から 39.1%、「⑩必要性を感じない」が 13.2%から 14.4%と微増ながら増えてきており、今後は講座・教室などの情報発信の更なる充実を図るとともに生涯学習を行うためのきっかけづくりなど、無関心層への働きかけが必要と考えられます。

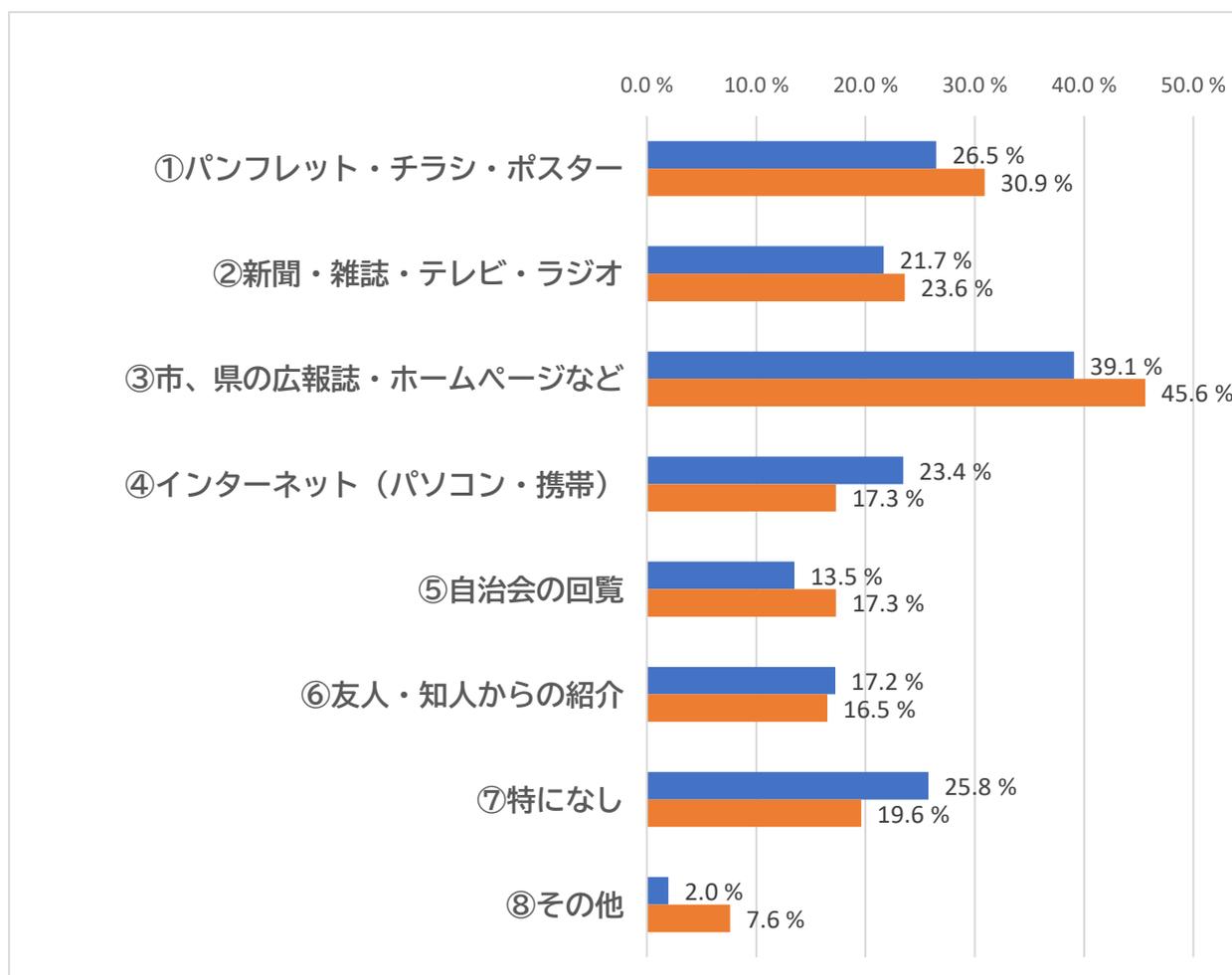
また、「⑪特に理由はない」を年代別で見た場合、60 歳以上の回答が 50.7%と大きく占め、生きがいを持って自立した生活ができることが求められる高齢者福祉の観点からも、大きな課題と言えます。

【生涯学習に関する情報の収集】

問 「生涯学習」に関する情報をどのように得ていますか。

(設問対象：アンケート対象者 563 人 (複数回答可))

【上段：令和 4 年度 下段：平成 28 年度】



「生涯学習」に関する情報の入手方法は、「③市や県の広報誌・ホームページ」が最も多く、次に「①パンフレット・チラシ・ポスター」、3 番目に「⑦特になし」となっています。

今回の結果から「③市や県の広報誌・ホームページ」、「①パンフレット・チラシ・ポスター」など、紙媒体からの情報入手が減少している反面、「④インターネット (パソコン・携帯)」によるデジタルを活用した情報入手が増加していることがうかがえます。年齢別では、10 代から 50 代まで高い割合を占めているとともに、60 歳以上も活用している方が増加の傾向にあります。平成 28 年度に実施したアンケートとは違った結果であり、情報化社会が進んでいくことを見据えて、時勢に合った情報発信を行っていくことが必要であると考えます。

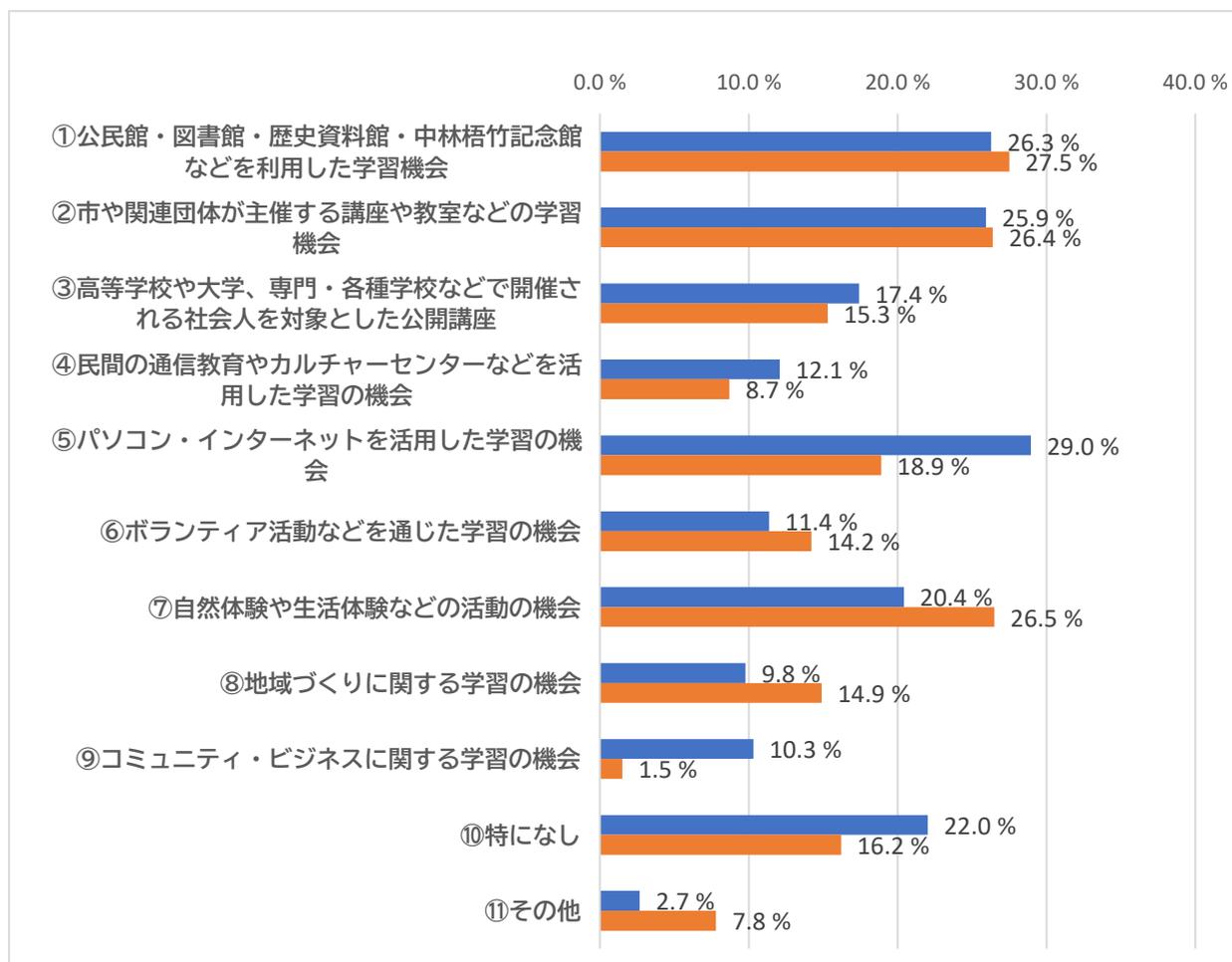
なお、「⑦特になし」は全ての年代で高い割合を占めており、生涯学習に関心や興味を持てるような内容での情報発信の検討を行っていくことが必要です。

【生涯学習の機会の提供】

問 今後、どのような「生涯学習」の機会が増えればよいと思いますか。

(設問対象：アンケート対象者 563 人 (複数回答可))

【上段：令和 4 年度 下段：平成 28 年度】



今後の「生涯学習」の機会は、「⑤パソコン・インターネットを活用した学習の機会」が最も多く、次に「①公民館・図書館・歴史資料館・中林梧竹記念館などを利用した学習機会」、3 番目に「②市や関連団体が主催する講座や教室などの学習機会」となっています。

最も多かった「⑤パソコン・インターネットを活用した学習の機会」を平成 28 年度アンケート結果と比較すると 10.1%増加しています。背景としては、情報化社会におけるデジタルの活用、また、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えながらも生涯学習の機会は得ていきたいということが考えられます。

公的機関での学習機会は、利用しやすい環境にあることもあり、引き続き利用者にとって、学びやすい環境を提供していくことが必要です。

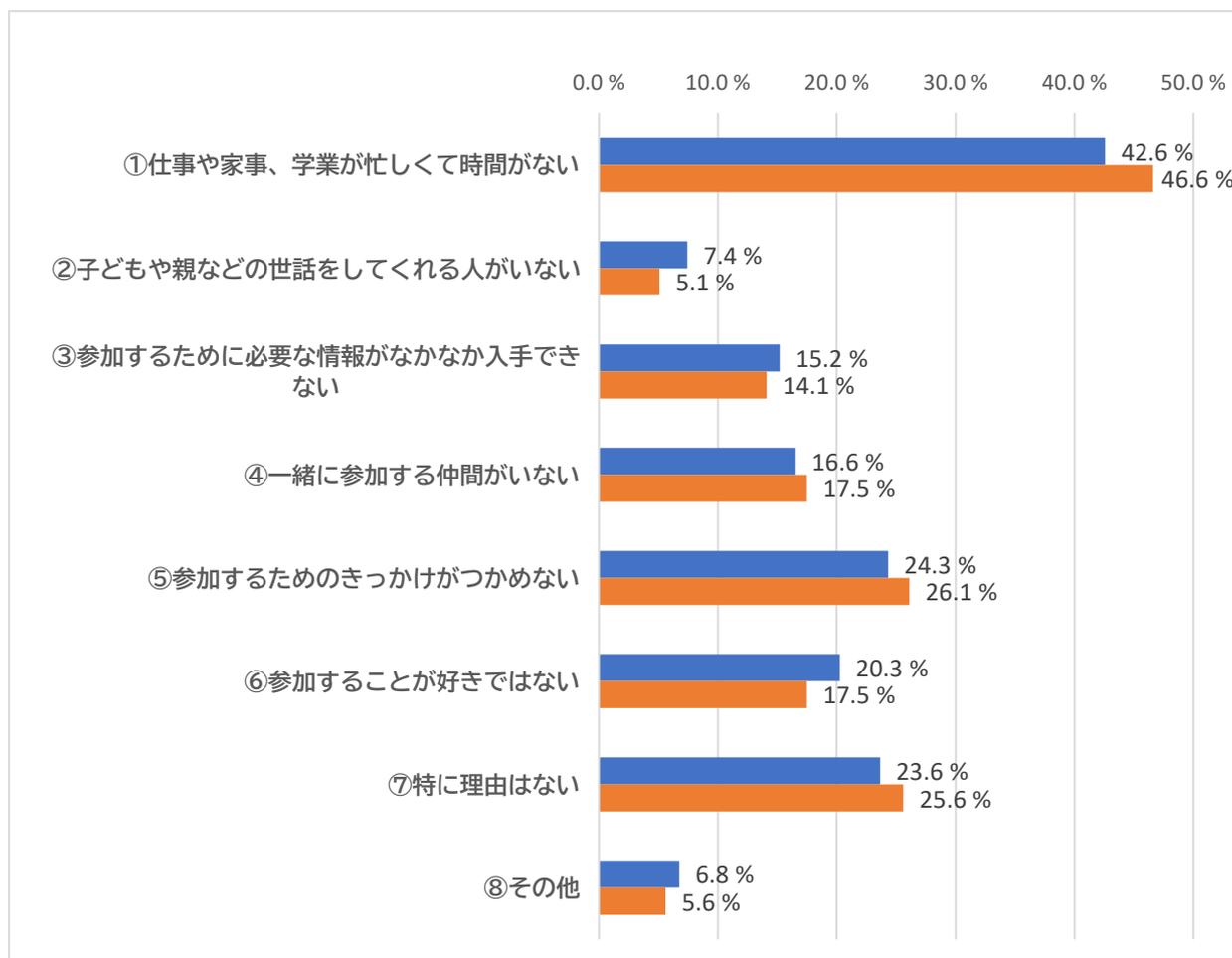
他の質問同様「⑩特になし」が増加傾向にあるため、生涯学習の機会を得てもらうような環境の整備を検討していくことを考えていかなければなりません。

【地域行事への参加状況】

問 地域の行事や活動に参加していない（できていない）理由は何ですか。

（設問対象：参加していない（できていない）296人（複数回答可））

【上段：令和4年度 下段：平成28年度】



地域の行事や活動に参加していない理由は、「①仕事や家事、学業が忙しくて時間がない」が最も多く、次に「⑤参加するためのきっかけがつかめない」、3番目に「⑦特に理由はない」となっています。

「①仕事や家事、学業が忙しくて時間がない」の年代別回答を見ると、10代から50代の占める割合が高く、日常生活の中で仕事や家事、学業に割く時間が大半であるとの見方ができます。

その他記述では、「高齢のため」「体調不良」との意見があり、個々人では年齢的にも身体的にも参加が難しい方がいる状況も見えてきます。

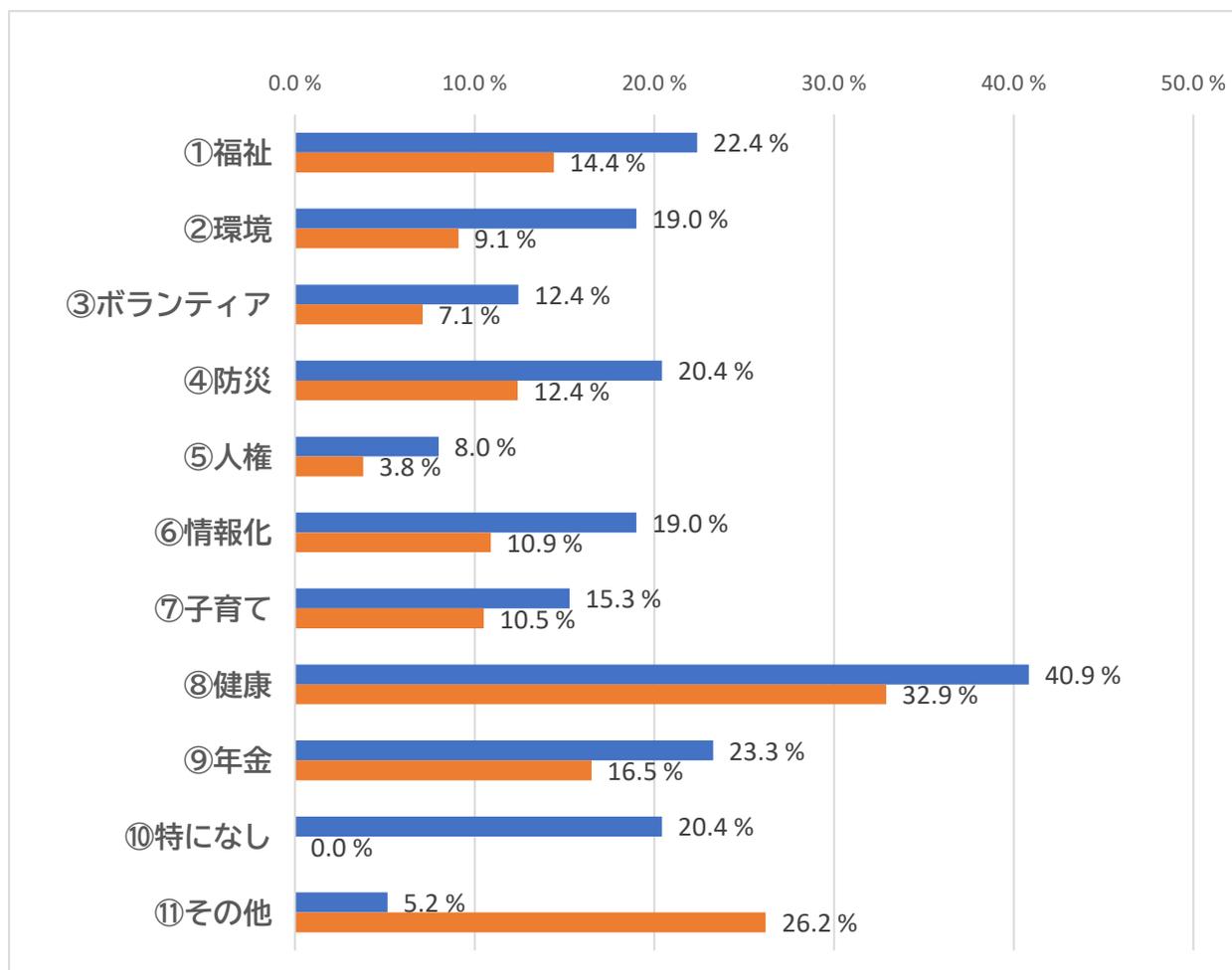
地域行事などへの参加を促すためには、行政や地域のネットワーク等が連携して、きっかけづくりを行うことが必要だと考えます。

【これから学びたい学習講座】

問 学んでみたい講座は、どのような講座ですか。

(設問対象：アンケート対象者 563 人 (複数回答可))

【上段：令和 4 年度 下段：平成 28 年度】



※前回のアンケートでは「⑩特になし」を設けていないため数値の記載無し

これから学んでみたい講座は、「⑧健康」が最も多く、次に「⑨年金」、3 番目に「①福祉」となっており、自身の「健康」に対する関心が非常に高くなっていることがうかがえます。また、年代別で見ると 40 代以上の年代で「健康」と回答した方が 83%と高く、年齢を重ねるごとに自身の健康に関心を持たれているようです。

「⑦子育て」では、10 代から 30 代の回答が多く 70.9%となっています。女性の回答が 67.4%、男性の回答が 27.9%で、現在から将来にかけての「子育て」に関する自身の知識を増やしていこうということが見受けられます。

「②環境」も前回の結果より 9.9%増加しており、地球温暖化防止、SDGs (持続可能な開発目標) などの地球規模での環境問題に関心を示していることが考えられ、年代別では 60 代以上で 47.7%が学んでみたいとの意向を持たれています。

年代により学びたいものが違うことが見えてくるため、それぞれの年代のニーズを把握、ターゲットを絞った講座の開催が必要となってきます。

■ 前計画の振り返り

小城市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、毎年度事業の点検評価を実施し、事業の見直しを行ってきています。

前計画の基本方針は「青少年の健全育成」「生涯学習の充実」「生涯スポーツの充実」「歴史の継承、文化・芸術の振興」とし、以下 8 つの施策をたて基本目標実現のため取り組んできました。

- (1) 青少年健全育成環境づくりでは、各地区の青少年健全育成会が放課後子ども教室を実施するなど、青少年を対象とした事業は、学校、家庭及び地域等が年々様々に変化する環境に応じながら、それぞれの立場で自らの役割を果たし、連携しながら取り組まれています。一方で、スマートフォンをはじめとした様々なインターネット接続機器などの普及に伴い、情報通信技術（ICT）の長時間利用による生活習慣の乱れや学力低下への影響、いじめや犯罪に巻き込まれる一因となっているため、一層の家庭教育支援が今後必要です。
- (2) 青少年のための地域活動の推進では、子どもたちの「生きる力」を育むため、自然の中で豊かな体験をしたり、文化芸術を体験して感性を豊かにする機会を学校や地域と連携・協働しつつ提供してきました。しかし、少子化の進行や人口の流出に伴い、地縁的なつながりや共通の価値観が希薄となり、地域コミュニティの衰退が見受けられてきています。
- (3) 生涯学習環境・活動の充実では、市民の多様な学習ニーズに対応しながら、自発的に活動できるよう安全で快適な施設等拠点の充実や学習機会の提供を行いました。しかし、参加者の固定化や若者の参加が少なく、また、超スマート社会の進行やコロナ禍により生活スタイルが変化してきているため、これらに適切に対応していく必要があります。
- (4) 生涯学習の地域への還元では、学習の成果を地域へ還元していく循環型社会の構築を目指し、社会教育団体（地域婦人会、文化連盟）がもつ知識、技術、人脈など「人財」を生かして、地域の活性化を図ってきました。また、様々な分野における指導者やボランティアなど多様な人材の発掘・登録にも取り組みました。
- (5) ライフステージに応じたスポーツの推進と施設の充実では、年齢や性別、障がいなどを問わず、市民が関心、適性に応じてスポーツに参加できる環境整備を行ってきました。一方で、運動・スポーツの実施率は横ばいの傾向にあり、その理由の上位も「時間に余裕がない」、「機会がない」と、これまでと変わらないことから、小城市スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携を一層密にしながら、スポーツを始め

るきっかけづくりの場や誰でも気軽にスポーツを楽しめるよう環境整備とともに機会の提供に努めました。

- (6) 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用では、文化連盟の活発な活動や、高度な芸術・文化を鑑賞する機会、また、歴史資料の展示会の開催などの事業に取り組み、文化を通じた活性化を図ってきました。今後も市民の方々に興味を持ってもらえるようなテーマの設定が必要です。
- (7) 伝統芸能の継承では、郷土芸能団体の発表機会の創出を小城市文化連盟など各種団体と連携しながら行い、発表を通じ活動の活性化をめざしました。一方、会員不足などから活動の縮小も見られますので、継続的な活動の支援が必要です。
- (8) 文化財の適正な保存では、市内に所在する文化財について、巡回を行い、文化財保護指導員等と情報を共有し、文化財の修復や除草・伐採による環境整備を行い、文化財の保存を図りました。小城市にとって重要なものは、文化財保護審議会に諮り、小城市重要文化財に指定しました。引き続き、小城市にとって重要な文化財の調査や指定を行い、保存・整備・活用を進めていく必要があります。

5. 基本方針と施策

基本方針1 青少年の健全育成

施策(1) 青少年健全育成環境づくり



学校、家庭及び地域など、青少年育成に取り組む関係者が、協働・連携して環境浄化活動や子どもを見守る活動などを行い、青少年を健全に育む社会環境を整えます。

【基本事業】

◆青少年育成事業

青少年の体験・交流活動やボランティア活動、地域活動及び文化・スポーツ活動への参画機会の充実を図るとともに、学校と地域の協働の取り組みを進めます。

〈取り組み例〉

- ・子どもクラブ球技大会
- ・こどもまつり
- ・子ども宿泊体験 など

◆放課後子ども教室事業

家庭や学校以外において、子どもが安心して安全に過ごすことができる「居場所」づくりを地域と一体となって進めます。

〈取り組み例〉

- ・土曜教室、寺子屋
- ・通学合宿
- ・津の里ミュージアム
- ・あしかりちゃれんじすくーる など

◆青少年育成市民会議団体支援

各校区の青少年育成会など関係機関・団体と連携し、青少年育成市民会議の一層の充実を図ります。



≪ 質の高い教育をみんなに ≫



≪ 平和と公正をすべての人に ≫



≪ パートナーシップで目標を達成しよう ≫

施策(2) 青少年の地域活動の促進



青少年が健やかに成長する過程の中で、自ら積極的に学び、考える力、心豊かに社会で生きる力を養えることができるよう、地域での青少年の主体的な活動を促進します。

【基本事業】

◆家庭教育支援事業

子どもたちの健全な成長のためには、しつけや規範意識の育成、生活リズムの向上等、家庭教育が重要であり、基本的な生活習慣の大切さを伝える取り組みや親子で参加できる講座及び教室の開催をはじめとして、広報・啓発活動や情報提供など、学校や関係機関等と連携して取り組みます。

〈取り組み例〉

- ・ 公民館体験講座
- ・ 早寝早起き朝ごはん運動の推進
- ・ スマホ等利用の家庭ルール作成の推進 など

◆地域学校協働活動の推進

子どもたちが様々な体験を通じて、地域とのつながりを深められるよう、学校、家庭及び地域、関係機関・団体等がそれぞれの立場で自らの役割を果たしながら、青少年の地域行事や活動への参画を促します。



◀ 質の高い教育をみんなに ▶



◀ ジェンダー平等を実現しよう ▶



◀ 平和と公正をすべての人に ▶

基本方針 2 生涯学習・生涯スポーツの充実

施策(1) 生涯学習・生涯スポーツの環境の充実



市民が自発的に学習・スポーツ活動が行えるよう、ニーズを的確に把握しながら、各公民館・支館等拠点の充実や学習・スポーツに取り組む機会を提供します。

また、生涯スポーツ・レクリエーションから競技スポーツまで、幅広くスポーツ活動に取り組めるよう環境の充実を図ります。

【基本事業】

◆生涯学習施設等の管理

生涯学習の拠点である公民館や図書館、歴史資料館等の施設の特性を生かし、安全で快適な学習環境の提供と利便性の確保に努めます。

◆公民館社会教育事業

地域の特性を生かした独自の体験学習プログラムや、各世代、時代に即した市民ニーズに応えるプログラム、行政課題に対応したプログラムの提供に努めます。

〈取り組み例〉

- ・成人学級小城町大人塾、女性学級
- ・三日月晩成大学
- ・高齢者学級
- ・成人学級プラスワン など

◆社会教育運営事業

いつでも、どこでも、誰でも生涯学習に取り組めるよう、生涯学習関連情報の収集と分かりやすい情報の提供に努めます。

◆小城図書館・三日月図書館管理運営事業

図書館資料の利用を通じた読書活動の推進に取り組むとともに、市内全域に平等で、公平な図書館サービスを目指します。

〈取り組み例〉

- ・学校図書館、おはなしボランティアグループとの連携
- ・各種講座の開催、おはなし会の充実
- ・自動車図書館「本丸くん」サービスの充実
- ・家読（うちどく）の推進 など

◆スポーツ・チャレンジ・フェスタ事業

市民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の立場に関わることで、多面にわたるスポーツの価値を高め、スポーツを行うきっかけづくりと参加者相互のコミュニケーションの場を提供するよう努めます。

<取り組み例>

- ・「する」… スポーツ・レクリエーション大会（市主催）
市民スポーツ大会、県民スポーツ大会、観桜大会、綱引大会、
芦刈ムツゴロウロードレース大会 など
（一般財団法人 小城市スポーツ協会支援事業）
さわやかスポーツレクリエーション祭
（小城市スポーツ推進委員協議会）
各種スポーツ教室、スポーツ大会 など
（トップアスリート交流事業、地区スポーツ協会）
- ・「みる」… スポーツ観戦優待事業（トップアスリート交流事業）
- ・「ささえる」… 総合型地域スポーツクラブの設置・育成
スポーツ推進委員研修、少年少女スポーツ指導者講習会、
スポーツボランティア制度の構築 など

◆体育施設の管理

公の施設の性格、規模、機能等を考慮し、設置目的を最も効果的かつ効率的に達成することができるよう指定管理者とともに、施設の安全管理に努めます。



《 質の高い教育をみんなに 》



《 ジェンダー平等を実現しよう 》



《 平和と公正をすべての人に 》

施策(2) 自主的な取り組みの推進



取り組みの成果を生かすため、様々な分野における指導者やボランティアと連携した積極的な活動を推進することで地域の活性化を図ります。

【基本事業】

◆社会教育団体支援

地域の活性化を図るため、地域社会を担う社会教育団体（地域婦人会、文化連盟）等と連携し、自立を促すための支援を行います。

〈取り組み例〉

- ・社会教育団体（地域婦人会、文化連盟）支援
- ・社会教育関係団体の自立化に向けての指導、助言
- ・全国競技大会等出場激励費の交付 など

◆小城市スポーツ協会支援

競技スポーツの向上及び市民へのスポーツの普及促進を図るため、その役割を担う一般財団法人小城市スポーツ協会の支援を行います。



《 質の高い教育をみんなに 》



《 ジェンダー平等を実現しよう 》



《 平和と公正をすべての人に 》



《 パートナーシップで目標を達成しよう 》

基本方針 3 歴史・文化の継承と文化財の保存

施策(1) 歴史、文化・伝統芸能の継承と振興



小城市の歴史・文化を継承し新たな文化を創造するとともに、市民の豊かな文化活動を促すため、多彩な文化の振興と伝統文化の継承などを行っていきます。また、子どもたちにも郷土の歴史や文化に触れる機会をつくっていきます。

中林梧竹記念館や歴史資料館の資料の充実を図るとともに、活用を促進し、また伝統芸能を保存し、後世に継承できるような活動団体の育成支援を行い、市民に文化を身近なものとした環境づくりに努めます。

【基本事業】

◆歴史資料館施設運営事業、中林梧竹記念館施設運営事業

展示施設を活用し、歴史・文化に触れる機会をつくれます。

〈取り組み例〉

- ・中林梧竹記念館と歴史資料館及び文化施設の活用
- ・歴史資料や梧竹作品の調査・収集
- ・新収蔵品展の開催
- ・梧竹デジタルミュージアムの拡充

◆伝統芸能・創作芸能団体補助事業

伝統芸能を後世に継承できるように活動団体に対して支援を行ないます。

〈取り組み例〉

- ・伝統芸能の継承
- ・活動団体の育成、発表の場・情報交換の場の提供



《 質の高い教育をみんなに 》



《 住み続けられるまちづくりを 》



《 平和と公正をすべての人に 》



《 パートナーシップで目標を達成しよう 》

施策(2) 文化財の適正な保護



指定文化財の適正な保存や未指定文化財の調査を行い、指定、整備を進めます。また、観光とまちづくりとの連携という視点に立ち、「屋根のない博物館構想」を推進し、情報発信、活用を行うとともに、文化財保護の啓発に努めます。

【基本事業】

◆埋蔵文化財調査事業

指定文化財の適正な保存や未指定文化財の調査を行い、指定・整備を進めます。文化財保護意識を高めるために情報発信を行います。

〈取り組み例〉

- ・文化財の保存
- ・埋蔵文化財の調査

◆屋根のない博物館事業

小城市全域を博物館とみなし、市内各所にある文化財の掘り起こしや一体的な修復整備・活用を行います。

〈取り組み例〉

- ・文化財説明板の設置
- ・土生遺跡公園まつり、文化財ウォーキングの開催
- ・小城市内遺跡発掘調査成果展の開催



《 質の高い教育をみんなに 》



《 住み続けられるまちづくりを 》



《 平和と公正をすべての人に 》



《 パートナーシップで目標を達成しよう 》

6. 関連資料

小城市スポーツ推進計画（抜粋）

計画の基本理念と施策目標

1 基本理念（目指す姿）

スポーツの力で人も地域も元気になろう！
～ さあ、みんなでその一歩をふみだそう ～

2 施策目標

基本理念を実現するため、6つの施策目標をあげ推進します。

①子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実

地域社会全体が連携・協力し、子どもがスポーツを行う機会を向上させます。

②ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進

市民のだれもが年齢、性別を問わずライフステージに応じたスポーツ活動ができる環境の充実と促進を図ります。

③障害者スポーツの充実

障害のあるなしに関係なく、誰もが積極的にスポーツを行えるよう、必要な配慮を行い、障害者スポーツの普及・促進に努めます。

④地域のスポーツ指導者の充実

スポーツ活動を支える指導者やスポーツボランティアの育成を行い、地域に根差した指導者の活動形態を目指します。

⑤スポーツ施設の利便性の向上と安全の確保

誰もがそれぞれのライフステージに応じて楽しむことができるよう、ユニバーサルデザイン化を目指すとともに、安全の確保に努めます。

⑥関係各団体との連携

一般財団法人小城市体育協会及びスポーツ推進委員、関係各団体と連携を図り、競技スポーツの競技力の向上と住民スポーツの普及・促進に努めます。

生涯学習関連施設の概要

1. 公民館等

施設名	所在地	開館年月	構造等			施設概要
			構造種別	敷地面積 m ²	建物面積 m ²	
小城公民館	小城町 253-21	平 28. 1				小城市まちなか市民交流プラザ内 1 階
小城公民館 桜岡支館	小城町 253-21	平 28. 1				小城市まちなか市民交流プラザ内 2 階
小城公民館 岩松支館	小城町松尾 3780-1	昭 48. 4	鉄筋コンクリート 平屋建	1,819.57	571	集会室、研修室、和室 調理実習室
小城公民館 晴田支館	小城町晴気 2096-1	昭 54. 4	鉄筋コンクリート 平屋建	1,462	610	集会室、研修室、和室 調理実習室
小城公民館 三里支館	小城町栗原 1244-1	昭 53. 4	鉄筋コンクリート 平屋建	1,974	563	集会室、研修室、和室 調理実習室
小城市生涯学習センター (三日月公民館)	三日月町 長神田 1845	平 8. 5	鉄筋コンクリート 2 階建	10,743	3,780	多目的文化ホール 504 席 市民図書館・視聴覚室・和室 小中会議室・生活工房
牛津公民館	牛津町柿樋瀬 1100-1	平 28. 1	鉄筋コンクリート 2 階建	1,906.43	1,552.09	1 階・ホール、研修室、図書館 分室 2 階・研修室、和室
牛津公民館 別館	牛津町勝 1324-1	平 2. 4	鉄筋コンクリート 2 階建	2,013	1,037	1 階・小会議室、図書館分室 2 階・大会議室・和室 2
芦刈地域交流センター (芦刈公民館)	芦刈町三王崎 349	平 24. 3	鉄筋コンクリート 平屋建	7,280	2,038	会議室 A、B、和室 A、B、 市民活動室、図書館分室、多目的 ホール、交流ホール
教育集会所	小城町畑田 634	昭 51. 12	木造平屋建	594	167	小会議室、大会議室、児童室、 調理室、事務室

2. 社会体育施設

施設名	所在地	開館年月	構造等			施設概要
			構造種別	敷地面積 m ²	建物面積 m ²	
小城体育センター	小城町畑田 98-1	昭 60. 4	鉄筋コンクリート 2階建	4,657	1,729	バレー2面・バスケット2面 バドミントン6面・卓球台3面 ミーティング室
三日月体育館	三日月町長神田 1848-9	昭 61. 3	鉄筋コンクリート 2階建	8,788	1,996	バレー2面・バスケット2面 バドミントン6面・卓球台3面 ミーティング室
三日月グラウンド	三日月町長神田 339-1	昭 63. 4		12,141		野球場1面 10,100 m ² ソフトボール2面(併用) ゲートボール5面 2,087 m ²
三日月ふれあい公園 テニスコート	三日月町樋口 1221	平 8. 5	砂入り人工芝	11,567		人工芝コート2面 1,604 m ² 夜間照明
牛津体育センター	牛津町柿樋瀬 1100-2	昭 56. 4	鉄筋コンクリート 2階建	3,338	1,589	バレー2面・バスケット2面 バドミントン6面・卓球台3面 ミーティング室
牛津武道館	牛津町牛津 556-1	平 6. 3	鉄筋コンクリート 2階建	1,509	1,354	1階・剣道場2面 478 m ² 2階・柔道場2面 487 m ²
牛津運動公園	牛津町下砥川 659-2	昭 56. 4		11,984		ソフトボール2面 グラウンドゴルフ・少年野球
芦刈文化体育館	芦刈町三王崎 172-1	平 5. 4	鉄筋コンクリート 2階建	17,215 (駐車場等含む)	3,901	バレー3面・バスケット2面 トレーニング室、会議室 2階・柔道場 168 畳
芦刈運動公園	芦刈町三王崎 172-1	平 5. 3		1,442		テニスコート2面

3. 研修センター

施設名	所在地	開館年月	構造等			施設概要
			構造種別	敷地面積 m ²	建物面積 m ²	
三日月野外研修センター	三日月町織島 2-13	昭 61. 4	木造平屋 一部 2階建	8,791	469	宿泊棟(28名)・研修棟(30名) 炊事場・ファイヤー広場

4. 文化施設

施設名	所在地	開館年月	構造等			施設概要
			構造種別	敷地面積 m ²	延床面積 m ²	
桜城館	小城町 158-4	平成 11 年 4月	鉄筋コンクリート2階建	4,228	3,497	1階：市民図書館小城館、図書館事務室、収蔵庫 2階：中林梧竹記念館、歴史資料館、企画展示室、研修室、文化課事務室
小城文化センター	小城町 520-1	昭和 63 年 4月	鉄筋コンクリート2階建	981	655	1階：ラウンジ、研修室、実習室、焼成窯 2階：和室、音楽室
牛津会館	牛津町牛津 586	大正初 期建築	木造平屋一部2階建	2,752	605	和室(4部屋)、炊事場、管理人室
牛津赤れんが館	牛津町牛津 586	明治中 期建築	煉瓦造2階建			340

「生涯学習に関する市民アンケート」結果

生涯学習推進計画アンケート調査結果報告

1. 調査期間 R4.7.22 - R4.8.12
2. 調査対象 市内在住 16歳以上 男女2,000人（ランダム抽出）
3. 調査方法 郵送回答もしくはWeb回答の選択
- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| | 郵送回答 472人 | (調査対象) |
| | Web回答 91人 | |
| 4. 回答状況 | 28.2% | 563人 |
| 【参考】 前回調査結果 | 27.5% | /2,000人 |

【性別・年齢】

①男			②女			③回答しない			計	構成比
①16～19歳	13人	5.6%	①16～19歳	24人	7.5%	①16～19歳	3人	27.3%	40人	7.1%
②20～29歳	18人	7.7%	②20～29歳	35人	11.0%	②20～29歳	2人	18.2%	55人	9.8%
③30～39歳	21人	9.0%	③30～39歳	29人	9.1%	③30～39歳	1人	9.1%	51人	9.1%
④40～49歳	23人	9.9%	④40～49歳	46人	14.4%	④40～49歳	4人	36.4%	73人	13.0%
⑤50～59歳	33人	14.2%	⑤50～59歳	46人	14.4%	⑤50～59歳	1人	9.1%	80人	14.2%
⑥60～69歳	56人	24.0%	⑥60～69歳	76人	23.8%	⑥60～69歳	0人	0.0%	132人	23.4%
⑦70歳以上	69人	29.6%	⑦70歳以上	63人	19.7%	⑦70歳以上	0人	0.0%	132人	23.4%
233人 100.0%			319人 100.0%			11人 100.0%			563人	100.0%

【年齢・職業】

職業	①16～19歳		②20～29歳		③30～39歳		④40～49歳		⑤50～59歳		⑥60～69歳		⑦70歳以上		計	構成比
①(自営) 農林水産業	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	5.9%	3人	4.1%	1人	1.3%	6人	4.5%	11人	8.3%	24人	4.3%
②(自営) 製造業・建設業	0人	0.0%	2人	3.6%	2人	3.9%	3人	4.1%	4人	5.0%	4人	3.0%	1人	0.8%	16人	2.8%
③(自営) 卸小売業・飲食業	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	1.4%	1人	1.3%	3人	2.3%	4人	3.0%	9人	1.6%
④(自営) その他サービス業等	0人	0.0%	1人	1.8%	0人	0.0%	4人	5.5%	2人	2.5%	5人	3.8%	7人	5.3%	19人	3.4%
⑤(勤務) 農林水産業	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%										
⑥(勤務) 製造業・建設業	0人	0.0%	6人	10.9%	7人	13.7%	11人	15.1%	18人	22.5%	8人	6.1%	6人	4.5%	56人	9.9%
⑦(勤務) 卸小売業・飲食業	0人	0.0%	1人	1.8%	3人	5.9%	4人	5.5%	5人	6.3%	7人	5.3%	0人	0.0%	20人	3.6%
⑧(勤務) その他サービス業等(公務員含む)	0人	0.0%	27人	49.1%	29人	56.9%	31人	42.5%	33人	41.3%	36人	27.3%	6人	4.5%	162人	28.8%
⑨(その他) 主に家事従事	0人	0.0%	4人	7.3%	5人	9.8%	8人	11.0%	11人	13.8%	29人	22.0%	30人	22.7%	87人	15.5%
⑩(その他) 無職	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	1.4%	3人	3.8%	29人	22.0%	59人	44.7%	92人	16.3%
⑪(その他) 学生・その他	40人	100.0%	14人	25.5%	2人	3.9%	7人	9.6%	2人	2.5%	5人	3.8%	8人	6.1%	78人	13.9%
	40人	100.0%	55人	100.0%	51人	100.0%	73人	100.0%	80人	100.0%	132人	100.0%	132人	100.0%	563人	100.0%

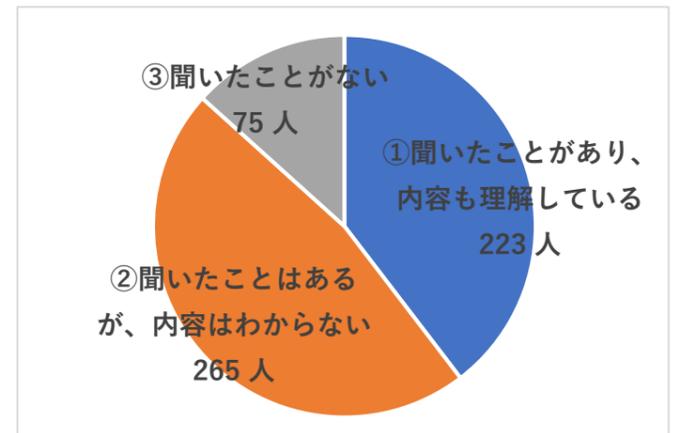
【性別・地区】

①男			②女			③回答しない			計	構成比
①小城町	85人	36.5%	①小城町	108人	33.9%	①小城町	6人	54.5%	199人	35.3%
②三日月町	73人	31.3%	②三日月町	102人	32.0%	②三日月町	4人	36.4%	179人	31.8%
③牛津町	49人	21.0%	③牛津町	73人	22.9%	③牛津町	1人	9.1%	123人	21.8%
④芦刈町	26人	11.2%	④芦刈町	36人	11.3%	④芦刈町	0人	0.0%	62人	11.0%
233人 100.0%			319人 100.0%			11人 100.0%			563人	100.0%

※ 項目の中で数値が一番多いものに着色

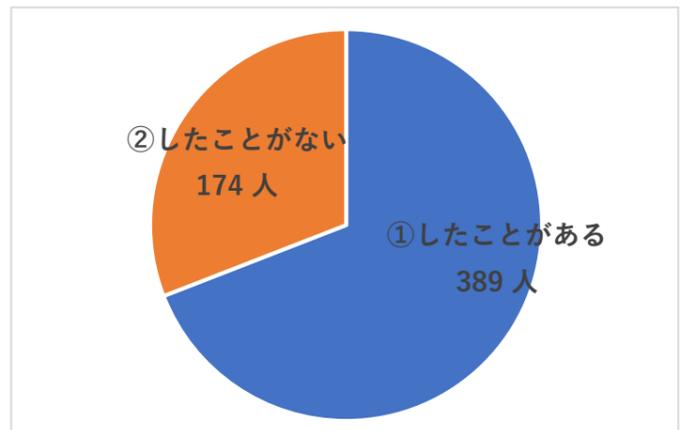
問1 「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① 聞いたことがあります、内容も理解している	223 人	39.6 %	31.5 %
② 聞いたことはあるが、内容はわからない	265 人	47.1 %	56.4 %
③ 聞いたことがない	75 人	13.3 %	12.2 %
計	563 人	100.0 %	



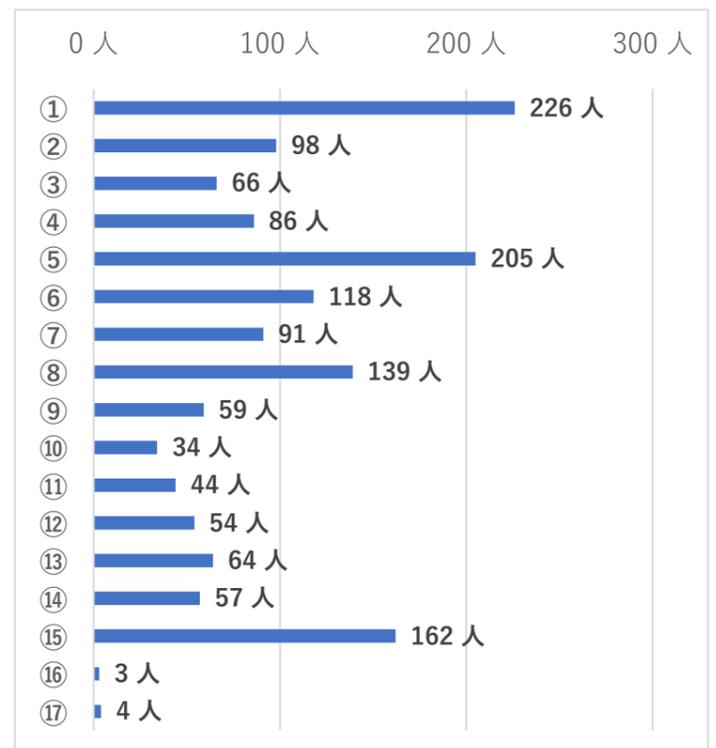
問2-1 「生涯学習」をしたことがありますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① したことがある	389 人	69.1 %	73.8 %
② したことがない	174 人	30.9 %	26.2 %
計	563 人	100.0 %	



問2-2 「生涯学習」のどれをしたことがありますか？（複数回答可）

【問2-1】①生涯学習をしたことがある <u>389人</u>	回答者数	構成比	前回調査
① 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）	226 人	58.1 %	55.9 %
② 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）	98 人	25.2 %	21.2 %
③ 小都市の歴史・文化・文化財に関すること	66 人	17.0 %	11.6 %
④ 人権問題に関すること	86 人	22.1 %	18.0 %
⑤ 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）	205 人	52.7 %	48.8 %
⑥ 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	118 人	30.3 %	20.0 %
⑦ 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）	91 人	23.4 %	20.7 %
⑧ 就職や転職のために必要な知識・技能（就職や転職に関係ある知識の習得、資格の取得など）	139 人	35.7 %	26.6 %
⑨ 社会問題に関すること（社会、時事、国際、環境、労働、消費問題など）	59 人	15.2 %	10.3 %
⑩ 国際理解・国際交流に関すること	34 人	8.7 %	4.7 %
⑪ 情報通信分野の知識・技能（プログラム、ホームページ作成など）	44 人	11.3 %	9.9 %
⑫ ボランティア活動のために必要な知識・技能	54 人	13.9 %	15.8 %
⑬ 自然体験や生活体験などの体験活動	64 人	16.5 %	15.0 %
⑭ まちづくり・地域づくりに関すること	57 人	14.7 %	15.0 %
⑮ 学校（高等学校、大学、大学院、専門・各種学校など）の正規課程での学習	162 人	41.6 %	35.0 %
⑯ わからない	3 人	0.8 %	0.2 %
⑰ その他	4 人	1.0 %	4.4 %
計	1,510 人		

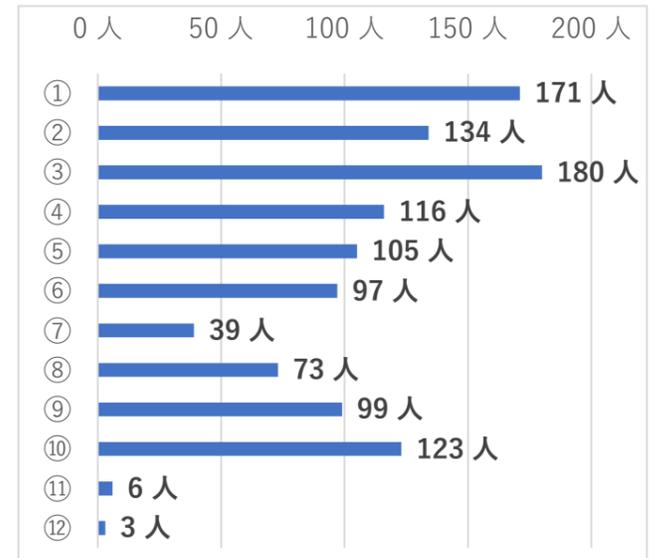


その他記述

青少年教育 仕事上の知識 自分が持っている資格 今回初めて手話を学習中(転入)

問3 どのような場所や形態で「生涯学習」をしたことがありますか？（複数回答可）

【問2-1】①生涯学習をしたことがある	389人	回答者数	構成比	前回調査
① 公民館・生涯学習センターなど、公的機関における講座・教室	171人	44.0%	44.6%	
② カルチャーセンター・スポーツクラブなど、民間の講座・教室・通信教育	134人	34.4%	25.6%	
③ 学校（高等学校、大学、大学院、専門・各種学校など）の公開講座・教室など	180人	46.3%	34.0%	
④ 職場の教育・研修	116人	29.8%	28.3%	
⑤ 同好者が自主的に行っている集まり・サークル活動	105人	27.0%	23.2%	
⑥ 図書館・博物館・美術館	97人	24.9%	17.0%	
⑦ 歴史資料館・中林梧竹記念館	39人	10.0%	9.9%	
⑧ テレビ・ラジオ	73人	18.8%	14.5%	
⑨ 情報端末・インターネット	99人	25.4%	14.5%	
⑩ 自宅での学習活動（書籍など）	123人	31.6%	20.9%	
⑪ わからない	6人	1.5%	1.4%	
⑫ その他	3人	0.8%	3.7%	
計	1,146人			



その他記述
 市民会館 病院 無回答

問4 「生涯学習」をしたことがある場所は主にどこの市町でしたか？

【問2-1】①生涯学習をしたことがある	389人	回答者数	構成比	前回調査
① 小城市内	222人	57.1%	64.9%	
② 小城市外	167人	42.9%	35.1%	
計	389人	100.0%		



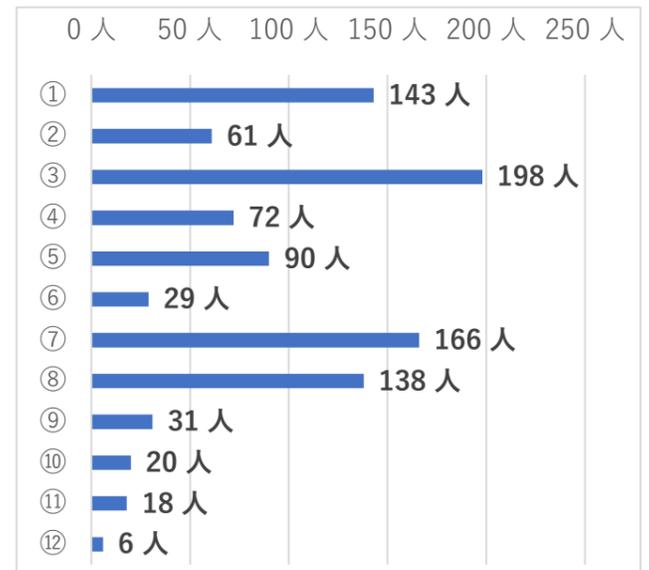
小城市外記述

小城市外	回答者数	構成比
1 佐賀市	89人	53.3%
2 唐津市	1人	0.6%
3 多久市	4人	2.4%
4 武雄市	1人	0.6%
5 鹿島市	2人	1.2%
6 神埼市	1人	0.6%
7 白石町	1人	0.6%
8 太良町	2人	1.2%
9 福岡県	10人	6.0%
10 長崎県	1人	0.6%
11 その他	20人	12.0%
12 無回答	35人	21.0%
計	167人	

※その他…九州以外の都道府県

問5 「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように活かしていますか？（複数回答可）

【問2-1】①生涯学習をしたことがある	389人	回答者数	構成比	前回調査
① 仕事や就職の上で活かしている（仕事で役立つスキルや資格を身につけた、給与面で優遇を受けた、就職活動に役立ったなど）	143人	36.8%	32.5%	
② 資格の取得に活かしている	61人	15.7%	14.5%	
③ 家庭・日常での生活に活かしている	198人	50.9%	45.6%	
④ 地域や社会での活動に活かしている	72人	18.5%	20.0%	
⑤ 身につけた知識・技能、経験を土台にして、さらに広く深い知識・技能を身につけるよう努めている	90人	23.1%	18.2%	
⑥ 他の人のための学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている	29人	7.5%	7.4%	
⑦ 自分の人生がより豊かになっている	166人	42.7%	38.4%	
⑧ 自分の健康の維持・増進に役立っている	138人	35.5%	33.5%	
⑨ 学業、学校生活の中で活かしている	31人	8.0%	8.4%	
⑩ 活かしていない	20人	5.1%	1.2%	
⑪ わからない	18人	4.6%	5.4%	
⑫ その他	6人	1.5%	5.2%	
計	972人			

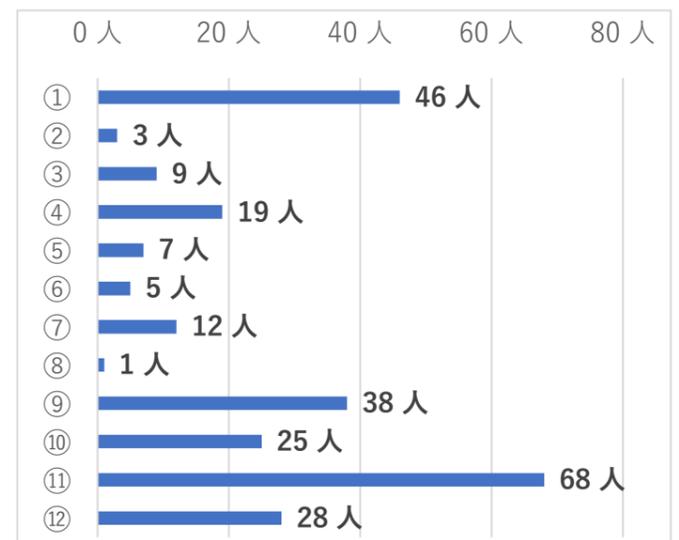


その他記述

他人のストレスを軽くするにはどうしたらいいかなどを伝えている 学んだことを活かしていきたい 無回答

問6 「生涯学習」をしたことがない理由はなんですか？（複数回答可）

【問2-1】②生涯学習をしたことがない	174人	回答者数	構成比	前回調査
① 仕事や就職の上で活かしている（仕事で役立つスキルや資格を身につけた、給与面で優遇を受けた、就職活動に役立ったなど）	46人	26.4%	46.5%	
② 資格の取得に活かしている	3人	1.7%	2.1%	
③ 家庭・日常での生活に活かしている	9人	5.2%	9.7%	
④ 地域や社会での活動に活かしている	19人	10.9%	13.2%	
⑤ 身につけた知識・技能、経験を土台にして、さらに広く深い知識・技能を身につけるよう努めている	7人	4.0%	7.6%	
⑥ 他の人のための学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている	5人	2.9%	3.5%	
⑦ 自分の人生がより豊かになっている	12人	6.9%	7.6%	
⑧ 自分の健康の維持・増進に役立っている	1人	0.6%	0.7%	
⑨ 学業、学校生活の中で活かしている	38人	21.8%	27.1%	
⑩ 活かしていない	25人	14.4%	13.2%	
⑪ わからない	68人	39.1%	35.4%	
⑫ その他	28人	16.1%	1.4%	
計	261人			

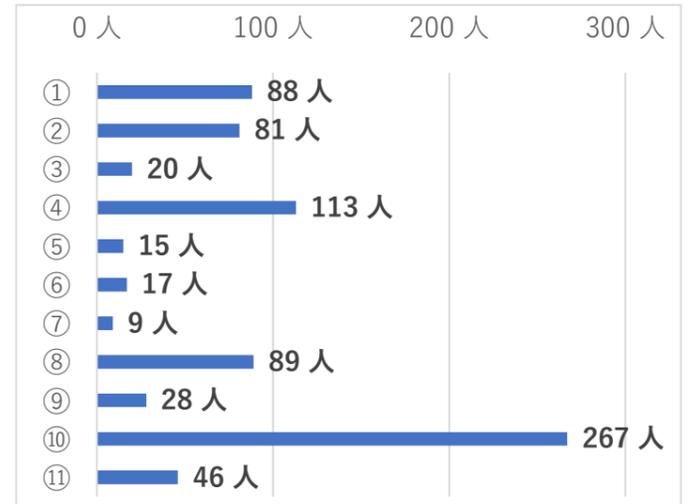


その他記述

生涯学習の内容が分からない コロナ禍で人との接触、回数をへらしている 生涯学習を知らなかった
若い人が参加しにくいイメージがある 特になし 無回答

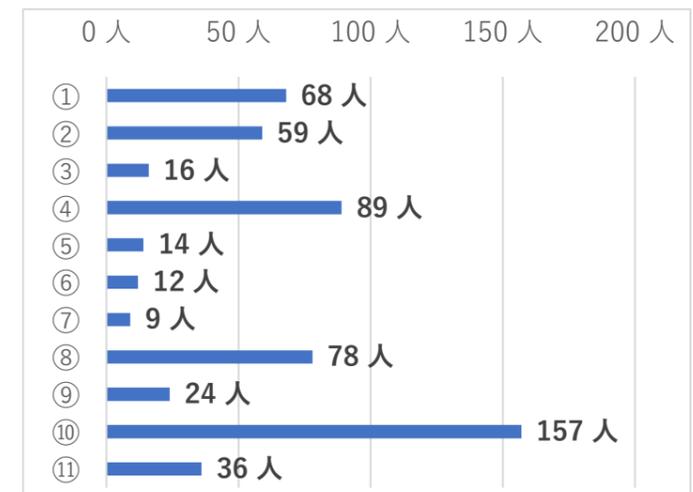
問7 市の生涯学習関連施設（公民館、体育館、図書館など）を利用する上での問題点がありますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 使える時間帯が希望と合わない	88人	15.6%	21.5%
② 使える日や曜日が希望と合わない	81人	14.4%	18.5%
③ 予約が取りにくい	20人	3.6%	4.2%
④ 利用に関する情報が乏しい	113人	20.1%	23.6%
⑤ 施設の場所が利用しづらい	15人	2.7%	2.7%
⑥ 利用料金が高い	17人	3.0%	3.3%
⑦ サービスが悪い	9人	1.6%	2.4%
⑧ 希望する講座や教室がない	89人	15.8%	14.7%
⑨ 希望する展示・蔵書・資料がない	28人	5.0%	3.3%
⑩ 特に問題はない	267人	47.4%	33.8%
⑪ その他	46人	8.2%	19.6%
計	773人		



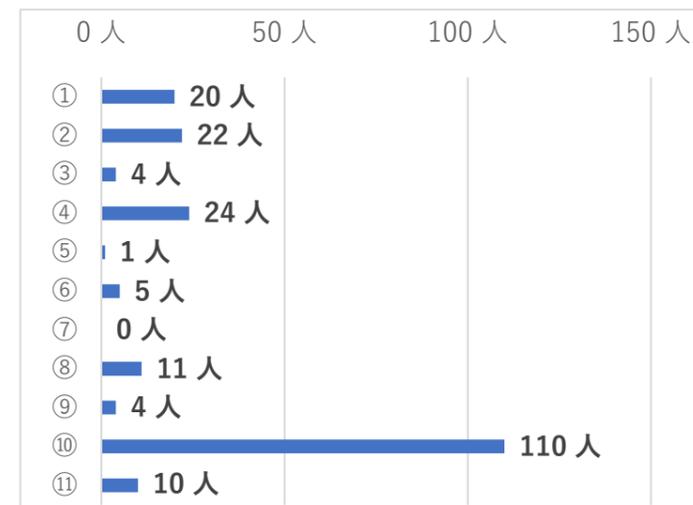
【問2-1】①生涯学習をしたことがある 389人

	回答者数	構成比
① 使える時間帯が希望と合わない	68人	17.5%
② 使える日や曜日が希望と合わない	59人	15.2%
③ 予約が取りにくい	16人	4.1%
④ 利用に関する情報が乏しい	89人	22.9%
⑤ 施設の場所が利用しづらい	14人	3.6%
⑥ 利用料金が高い	12人	3.1%
⑦ サービスが悪い	9人	2.3%
⑧ 希望する講座や教室がない	78人	20.1%
⑨ 希望する展示・蔵書・資料がない	24人	6.2%
⑩ 特に問題はない	157人	40.4%
⑪ その他	36人	9.3%
計	562人	



【問2-1】②生涯学習をしたことがない 174人

	回答者数	構成比
① 使える時間帯が希望と合わない	20人	11.5%
② 使える日や曜日が希望と合わない	22人	12.6%
③ 予約が取りにくい	4人	2.3%
④ 利用に関する情報が乏しい	24人	13.8%
⑤ 施設の場所が利用しづらい	1人	0.6%
⑥ 利用料金が高い	5人	2.9%
⑦ サービスが悪い	0人	0.0%
⑧ 希望する講座や教室がない	11人	6.3%
⑨ 希望する展示・蔵書・資料がない	4人	2.3%
⑩ 特に問題はない	110人	63.2%
⑪ その他	10人	5.7%
計	211人	

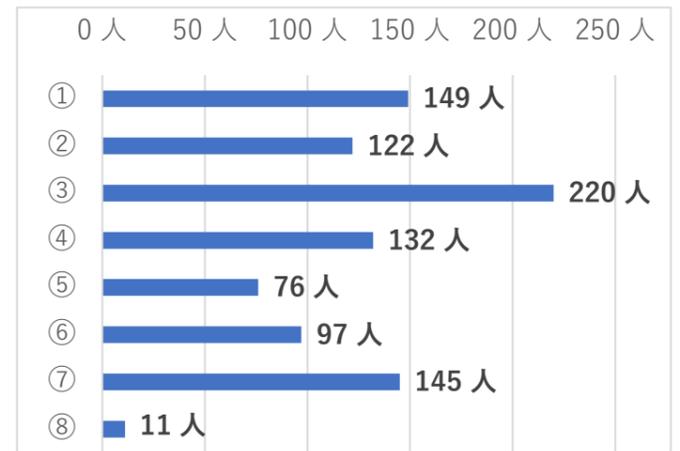


その他記述

勉強できるスペースが少ない 講座内容に魅力を感じない 小さい子どもを連れて利用しにくい SNSでの発信をして欲しい
生涯学習施設に行く手段がない コロナ以前は利用していたが今は自粛している 無回答

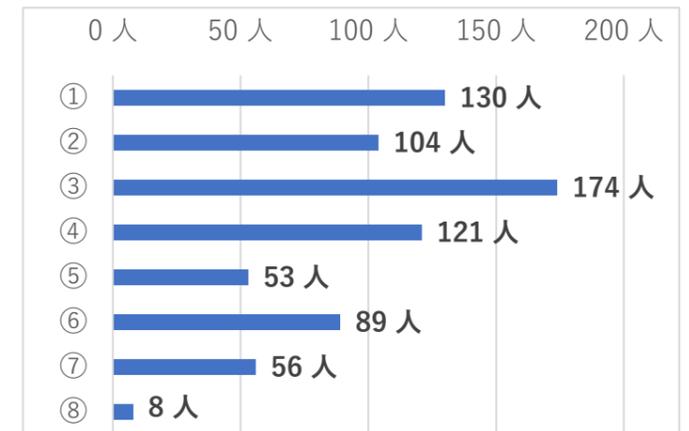
問8 「生涯学習」に関する情報をどのように得ていますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① パンフレット・チラシ・ポスター	149人	26.5%	30.9%
② 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	122人	21.7%	23.6%
③ 市、県の広報誌・ホームページなど	220人	39.1%	45.6%
④ インターネット（パソコン・携帯）	132人	23.4%	17.3%
⑤ 自治会の回覧	76人	13.5%	17.3%
⑥ 友人・知人からの紹介	97人	17.2%	16.5%
⑦ 特になし	145人	25.8%	19.6%
⑧ その他	11人	2.0%	7.6%
計	952人		



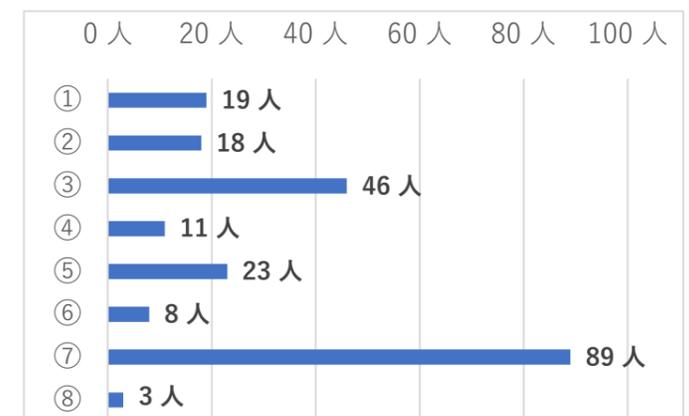
【問2-1】①生涯学習をしたことがある 389人

	回答者数	構成比
① パンフレット・チラシ・ポスター	130人	33.4%
② 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	104人	26.7%
③ 市、県の広報誌・ホームページなど	174人	44.7%
④ インターネット（パソコン・携帯）	121人	31.1%
⑤ 自治会の回覧	53人	13.6%
⑥ 友人・知人からの紹介	89人	22.9%
⑦ 特になし	56人	14.4%
⑧ その他	8人	2.1%
計	735人	



【問2-1】②生涯学習をしたことがない 174人

	回答者数	構成比
① パンフレット・チラシ・ポスター	19人	10.9%
② 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	18人	10.3%
③ 市、県の広報誌・ホームページなど	46人	26.4%
④ インターネット（パソコン・携帯）	11人	6.3%
⑤ 自治会の回覧	23人	13.2%
⑥ 友人・知人からの紹介	8人	4.6%
⑦ 特になし	89人	51.1%
⑧ その他	3人	1.7%
計	217人	

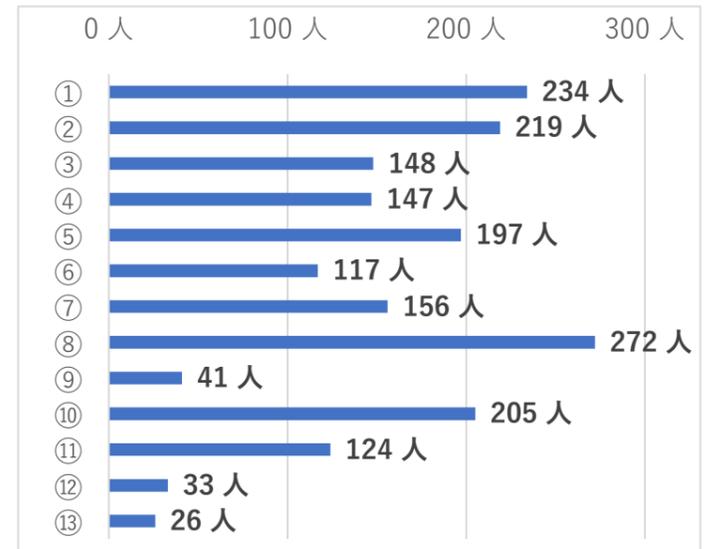


その他記述

興味があったら探す 学校の先生からの紹介 職場 利用施設に設置してある資料、掲示物を見る 無回答

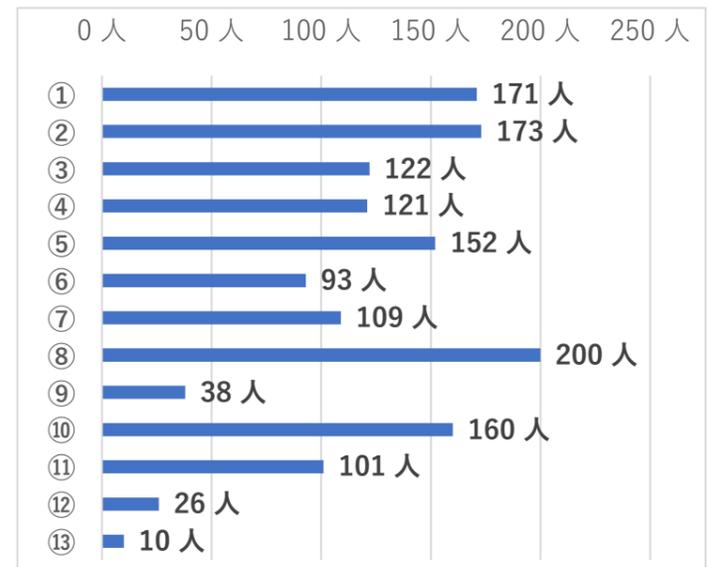
問9 「生涯学習」活動を始めるための機会や条件として重視するものは何ですか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 必要な情報が入手できること	234人	41.6%	39.5%
② 適切な施設、場所が近くにあること	219人	38.9%	38.0%
③ 一緒に活動する友人や仲間がいること	148人	26.3%	28.5%
④ 魅力ある講師や指導者に出会えること	147人	26.1%	21.6%
⑤ 魅力ある講座や教室が開かれていること	197人	35.0%	36.5%
⑥ 適切な曜日や時間に開かれること	117人	20.8%	25.1%
⑦ 時間に余裕ができること	156人	27.7%	28.2%
⑧ 自分にとって必要と感じられること	272人	48.3%	49.3%
⑨ 家族や職場の理解が得られること	41人	7.3%	7.5%
⑩ 費用がかかり過ぎないこと	205人	36.4%	37.8%
⑪ 健康や体の調子が良いこと	124人	22.0%	24.4%
⑫ 育児や介護などの時間が軽減されること	33人	5.9%	5.5%
⑬ その他	26人	4.6%	7.0%
計	1,919人		



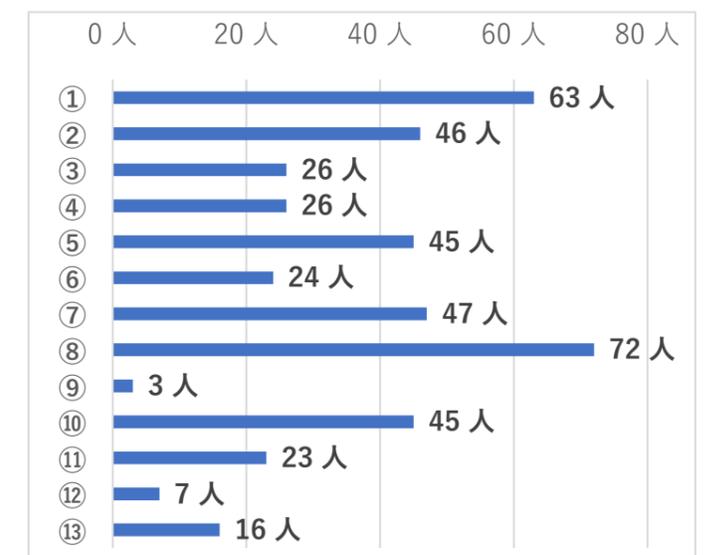
【問2-1】①生涯学習をしたことがある 389人

	回答者数	構成比
① 必要な情報が入手できること	171人	44.0%
② 適切な施設、場所が近くにあること	173人	44.5%
③ 一緒に活動する友人や仲間がいること	122人	31.4%
④ 魅力ある講師や指導者に出会えること	121人	31.1%
⑤ 魅力ある講座や教室が開かれていること	152人	39.1%
⑥ 適切な曜日や時間に開かれること	93人	23.9%
⑦ 時間に余裕ができること	109人	28.0%
⑧ 自分にとって必要と感じられること	200人	51.4%
⑨ 家族や職場の理解が得られること	38人	9.8%
⑩ 費用がかかり過ぎないこと	160人	41.1%
⑪ 健康や体の調子が良いこと	101人	26.0%
⑫ 育児や介護などの時間が軽減されること	26人	6.7%
⑬ その他	10人	2.6%
計	1,476人	



【問2-1】②生涯学習をしたことがない 174人

	回答者数	構成比
① 必要な情報が入手できること	63人	36.2%
② 適切な施設、場所が近くにあること	46人	26.4%
③ 一緒に活動する友人や仲間がいること	26人	14.9%
④ 魅力ある講師や指導者に出会えること	26人	14.9%
⑤ 魅力ある講座や教室が開かれていること	45人	25.9%
⑥ 適切な曜日や時間に開かれること	24人	13.8%
⑦ 時間に余裕ができること	47人	27.0%
⑧ 自分にとって必要と感じられること	72人	41.4%
⑨ 家族や職場の理解が得られること	3人	1.7%
⑩ 費用がかかり過ぎないこと	45人	25.9%
⑪ 健康や体の調子が良いこと	23人	13.2%
⑫ 育児や介護などの時間が軽減されること	7人	4.0%
⑬ その他	16人	9.2%
計	443人	

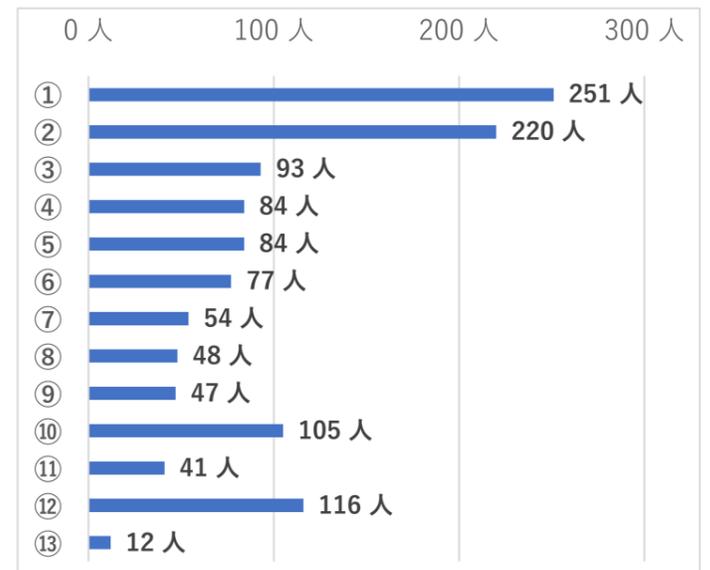


その他記述

コロナによる制限が無くなる事 公共交通機関があること 特になし 無回答

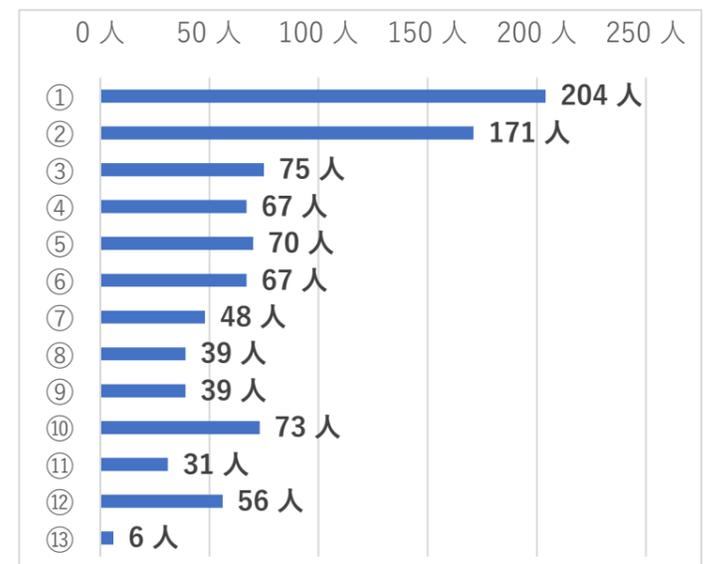
問10 どのような「生涯学習」に関する情報を望みますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 講座・教室の情報	251人	44.6%	45.1%
② イベント情報（講演・展覧会など）	220人	39.1%	43.8%
③ 一緒に活動する友人や仲間がいること	93人	16.5%	15.6%
④ 施設の情報	84人	14.9%	11.8%
⑤ 講師や指導者の情報	84人	14.9%	16.5%
⑥ 地域活動・ボランティアの情報	77人	13.7%	12.9%
⑦ 大学など教育機関の情報	54人	9.6%	4.4%
⑧ 学習グループ・団体などの情報	48人	8.5%	7.5%
⑨ 情報を発信している主体の情報	47人	8.3%	7.5%
⑩ 資格取得の情報	105人	18.7%	18.0%
⑪ 民間の学習情報	41人	7.3%	34.5%
⑫ 特になし	116人	20.6%	15.5%
⑬ その他	12人	2.1%	7.3%
計	1,232人		



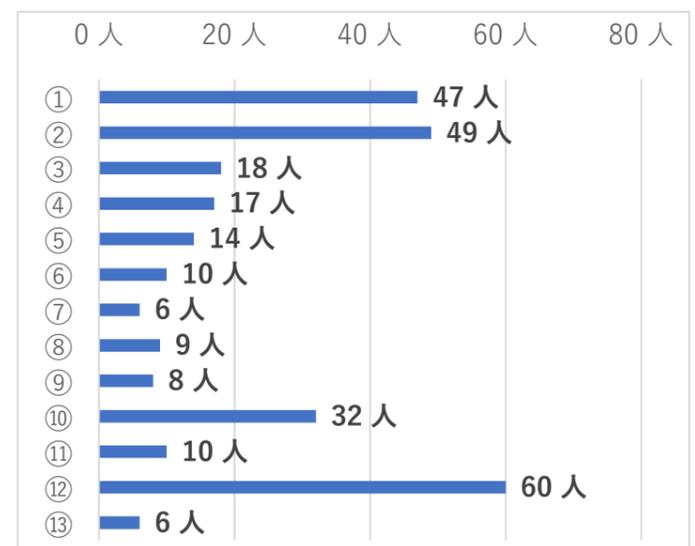
【問2-1】①生涯学習をしたことがある 389人

	回答者数	構成比
① 講座・教室の情報	204人	52.4%
② イベント情報（講演・展覧会など）	171人	44.0%
③ 一緒に活動する友人や仲間がいること	75人	19.3%
④ 施設の情報	67人	17.2%
⑤ 講師や指導者の情報	70人	18.0%
⑥ 地域活動・ボランティアの情報	67人	17.2%
⑦ 大学など教育機関の情報	48人	12.3%
⑧ 学習グループ・団体などの情報	39人	10.0%
⑨ 情報を発信している主体の情報	39人	10.0%
⑩ 資格取得の情報	73人	18.8%
⑪ 民間の学習情報	31人	8.0%
⑫ 特になし	56人	14.4%
⑬ その他	6人	1.5%
計	946人	



【問2-1】②生涯学習をしたことがない 174人

	回答者数	構成比
① 講座・教室の情報	47人	27.0%
② イベント情報（講演・展覧会など）	49人	28.2%
③ 一緒に活動する友人や仲間がいること	18人	10.3%
④ 施設の情報	17人	9.8%
⑤ 講師や指導者の情報	14人	8.0%
⑥ 地域活動・ボランティアの情報	10人	5.7%
⑦ 大学など教育機関の情報	6人	3.4%
⑧ 学習グループ・団体などの情報	9人	5.2%
⑨ 情報を発信している主体の情報	8人	4.6%
⑩ 資格取得の情報	32人	18.4%
⑪ 民間の学習情報	10人	5.7%
⑫ 特になし	60人	34.5%
⑬ その他	6人	3.4%
計	286人	

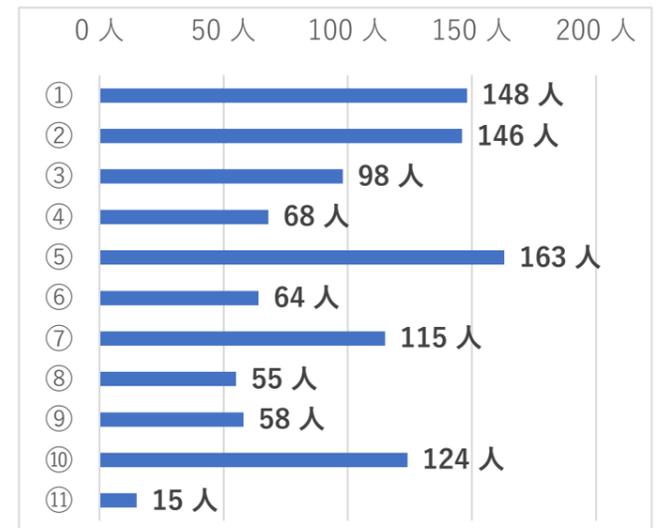


その他記述

投資など経済に関する情報 地域歴史講座情報 ワークショップ オーシャンレジニアート パソコン、スマホの操作
やる気がない 無回答

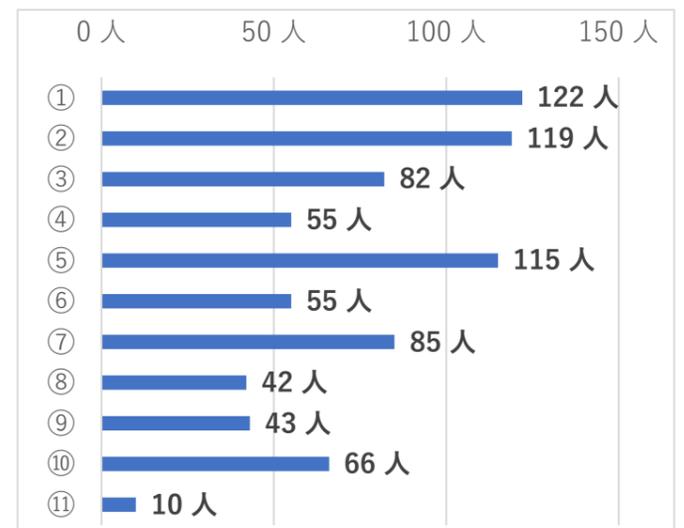
問 11 どのような「生涯学習」の機会が増えればよいと思いますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 公民館・図書館・歴史資料館・中林梧竹記念館などを利用した学習機会	148 人	26.3 %	27.5 %
② 市や関連団体が主催する講座や教室などの学習機会	146 人	25.9 %	26.4 %
③ 高等学校や大学、専門・各種学校などで開催される社会人を対象とした公開講座	98 人	17.4 %	15.3 %
④ 民間の通信教育やカルチャーセンターなどを活用した学習の機会	68 人	12.1 %	8.7 %
⑤ パソコン・インターネットを活用した学習の機会	163 人	29.0 %	18.9 %
⑥ ボランティア活動などを通じた学習の機会	64 人	11.4 %	14.2 %
⑦ 自然体験や生活体験などの活動の機会	115 人	20.4 %	26.5 %
⑧ 地域づくりに関する学習の機会	55 人	9.8 %	14.9 %
⑨ コミュニティ・ビジネスに関する学習の機会	58 人	10.3 %	11.5 %
⑩ 特になし	124 人	22.0 %	16.2 %
⑪ その他	15 人	2.7 %	7.8 %
計	1,054 人		



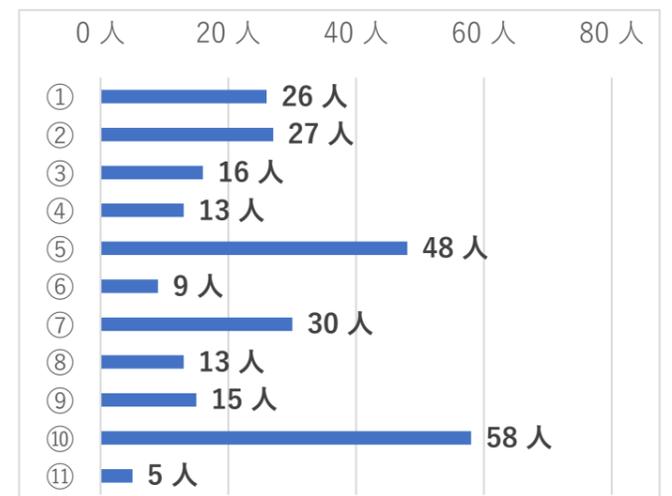
【問 2-1】①生涯学習をしたことがある 389 人

	回答者数	構成比
① 公民館・図書館・歴史資料館・中林梧竹記念館などを利用した学習機会	122 人	31.4 %
② 市や関連団体が主催する講座や教室などの学習機会	119 人	30.6 %
③ 高等学校や大学、専門・各種学校などで開催される社会人を対象とした公開講座	82 人	21.1 %
④ 民間の通信教育やカルチャーセンターなどを活用した学習の機会	55 人	14.1 %
⑤ パソコン・インターネットを活用した学習の機会	115 人	29.6 %
⑥ ボランティア活動などを通じた学習の機会	55 人	14.1 %
⑦ 自然体験や生活体験などの活動の機会	85 人	21.9 %
⑧ 地域づくりに関する学習の機会	42 人	10.8 %
⑨ コミュニティ・ビジネスに関する学習の機会	43 人	11.1 %
⑩ 特になし	66 人	17.0 %
⑪ その他	10 人	2.6 %
計	794 人	



【問 2-1】② 生涯学習をしたことがない 174 人

	回答者数	構成比
① 公民館・図書館・歴史資料館・中林梧竹記念館などを利用した学習機会	26 人	14.9 %
② 市や関連団体が主催する講座や教室などの学習機会	27 人	15.5 %
③ 高等学校や大学、専門・各種学校などで開催される社会人を対象とした公開講座	16 人	9.2 %
④ 民間の通信教育やカルチャーセンターなどを活用した学習の機会	13 人	7.5 %
⑤ パソコン・インターネットを活用した学習の機会	48 人	27.6 %
⑥ ボランティア活動などを通じた学習の機会	9 人	5.2 %
⑦ 自然体験や生活体験などの活動の機会	30 人	17.2 %
⑧ 地域づくりに関する学習の機会	13 人	7.5 %
⑨ コミュニティ・ビジネスに関する学習の機会	15 人	8.6 %
⑩ 特になし	58 人	33.3 %
⑪ その他	5 人	2.9 %
計	260 人	

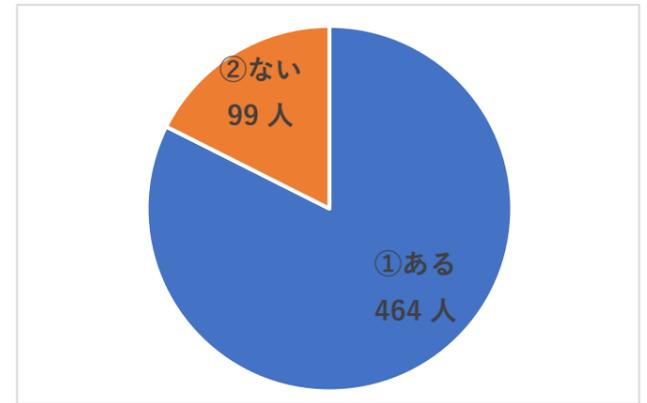


その他記述

音楽 お金に関する学習 ワークショップ 自分を高める今後の生活に役立つ情報など 生活支援体制整備事業に関する学習の強化 無回答

問 12 美術館、博物館などの展示会を見学したことがありますか？

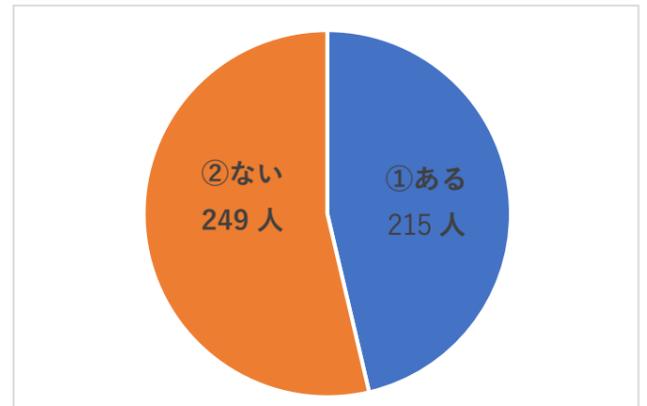
	回答者数	構成比	前回調査
① 見学したことがある	464 人	82.4 %	82.4 %
② 見学したことがない	99 人	17.6 %	17.6 %
計	563 人	100.0 %	



問 13 小城市立歴史資料館、中林梧竹記念館の展示会を見学したことがありますか？

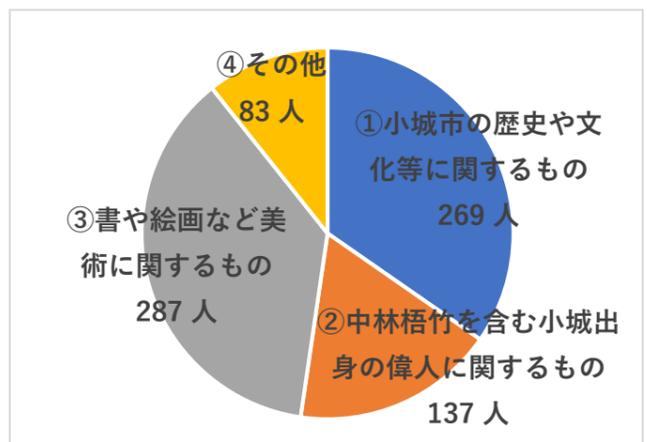
【問 12】 ①見学したことがある 464 人

	回答者数	構成比	前回調査
① 見学したことがある	215 人	46.3 %	42.7 %
② 見学したことがない	249 人	53.7 %	57.3 %
計	464 人	100.0 %	



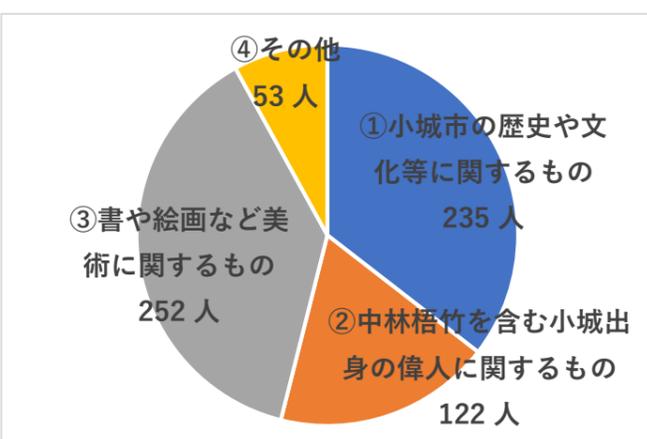
問 14 小城市立歴史資料館、中林梧竹記念館で、どのような展示会の企画を望まれますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 小城市の歴史や文化等に関するもの	269 人	47.8 %	44.4 %
② 中林梧竹を含む小城出身の偉人に関するもの	137 人	24.3 %	24.2 %
③ 書や絵画など美術に関するもの	287 人	51.0 %	45.8 %
④ その他	83 人	14.7 %	20.9 %
計	776 人		



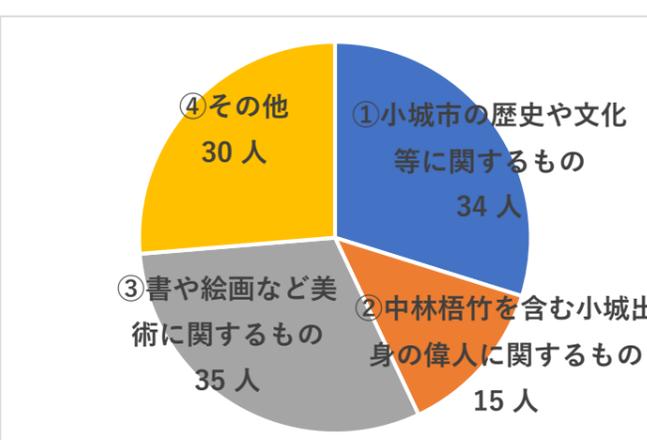
【問 12】 ①見学したことがある 464 人

	回答者数	構成比
① 小城市の歴史や文化等に関するもの	235 人	50.6 %
② 中林梧竹を含む小城出身の偉人に関するもの	122 人	26.3 %
③ 書や絵画など美術に関するもの	252 人	54.3 %
④ その他	53 人	11.4 %
計	662 人	



【問 12】 ②見学したことがない 99 人

	回答者数	構成比
① 小城市の歴史や文化等に関するもの	34 人	34.3 %
② 中林梧竹を含む小城出身の偉人に関するもの	15 人	15.2 %
③ 書や絵画など美術に関するもの	35 人	35.4 %
④ その他	30 人	30.3 %
計	114 人	

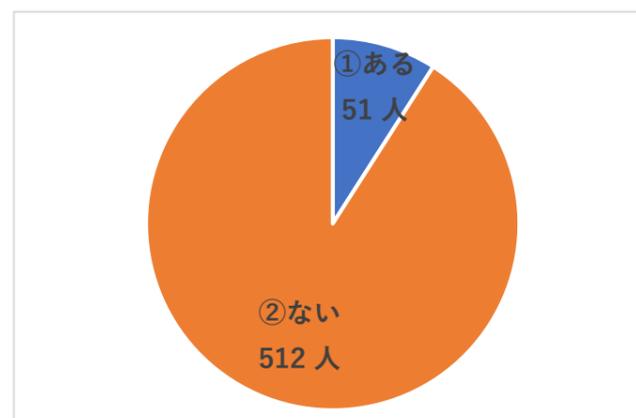


その他記述

羊羹関連であれば行きたい 刀剣の展示が良かった 質問が偏り過ぎ
 どんな人なのか知らない人多いと思うのでその辺からアピールが必要 展示会以外の物 九州出身で歴史に名を残された人に関する話
 町を明るくする展示や企画をしてほしい 障がい者のアート展など 高田保馬に関すること（顕彰会の育成にも力を入れてほしい）
 展示会等での簡単な説明が欲しい（知識がないものにとっては難しい） 年令を問わず楽しめるもの 外国の美術品を取り扱ってほしい
 行きたくなるような新しい企画、マンネリ気味 興味がない 特になし 無回答

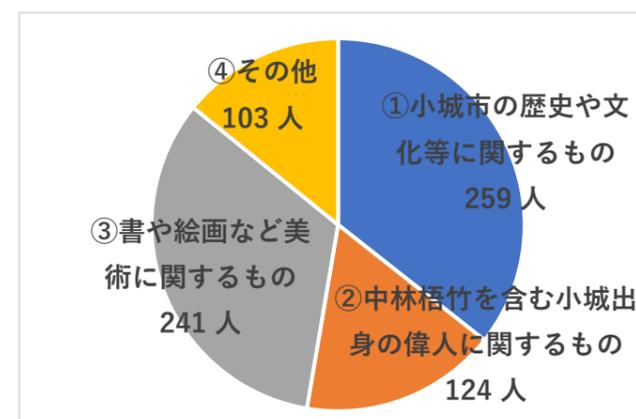
問 15 小城市立歴史資料館、中林梧竹記念館での講座・講演会に参加したことがありますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① 参加したことがある	51 人	9.1 %	8.8 %
② 参加したことがない	512 人	90.9 %	88.7 %
計	563 人	100.0 %	



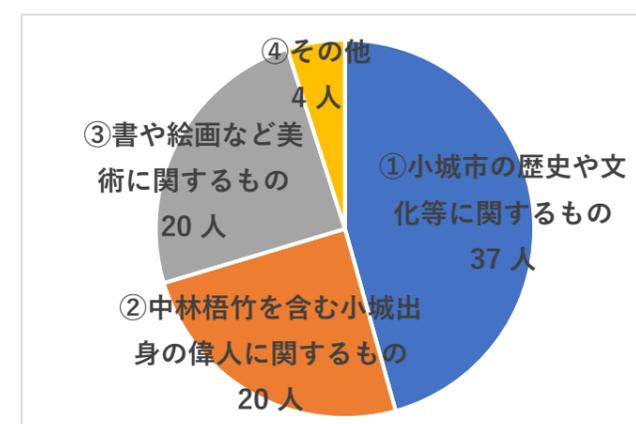
問 16 小城市立歴史資料館、中林梧竹記念館で、どのような講座・講演会の開催を望まれますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 小城市の歴史や文化等に関するもの	259 人	46.0 %	44.0 %
② 中林梧竹を含む小城出身の偉人に関するもの	124 人	22.0 %	23.8 %
③ 書や絵画など美術に関するもの	241 人	42.8 %	40.7 %
④ その他	103 人	18.3 %	26.2 %
計	727 人		



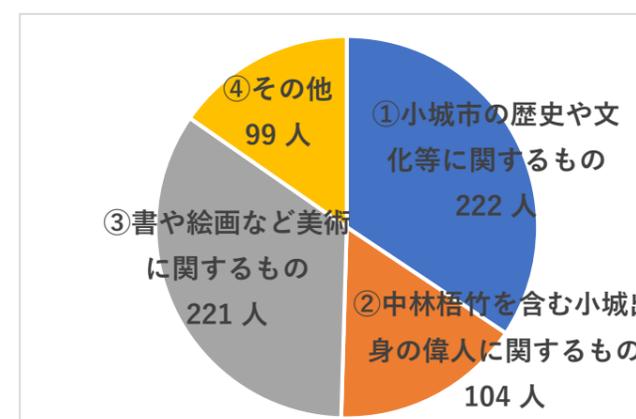
【問 15】①参加したことがある 51人

	回答者数	構成比
① 小城市の歴史や文化等に関するもの	37 人	72.5 %
② 中林梧竹を含む小城出身の偉人に関するもの	20 人	39.2 %
③ 書や絵画など美術に関するもの	20 人	39.2 %
④ その他	4 人	7.8 %
計	81 人	



【問 15】②参加したことがない 512人

	回答者数	構成比
① 小城市の歴史や文化等に関するもの	222 人	43.4 %
② 中林梧竹を含む小城出身の偉人に関するもの	104 人	20.3 %
③ 書や絵画など美術に関するもの	221 人	43.2 %
④ その他	99 人	19.3 %
計	646 人	

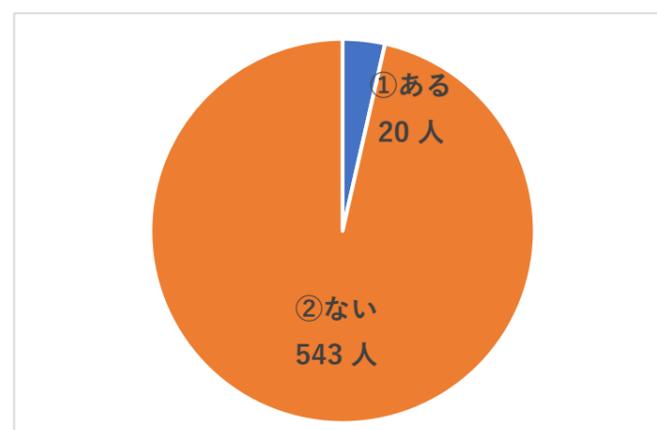


その他記述

講演会というものが好きではない 子どもが学びやすい郷土の歴史・今は大人向けが強いと感じる 子育て・気になる子どもへの支援
書道の実演・書や絵画などの体験 関連することでどの世代にも親しまれるイベント 九州出身で歴史に名を残された人に関する話
語学（特に韓国語） 簡単な歴史の話 広い視野での歴史・文化（小城市を問わない） ポップカルチャーなどとの融合
興味がない 特になし 無回答

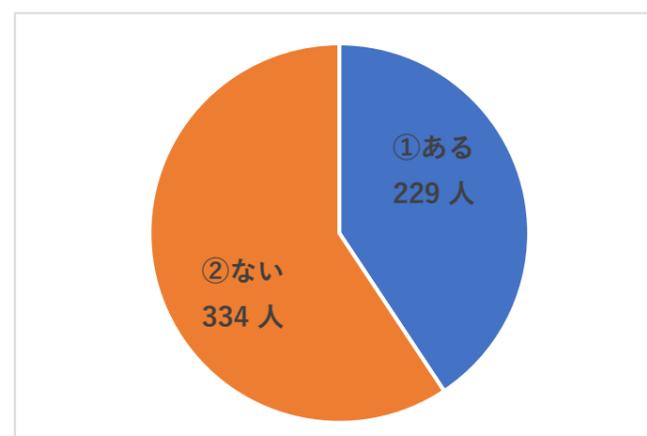
問 17 梧竹デジタルミュージアムを閲覧されたことがありますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① 閲覧したことがある	20 人	3.6 %	3.1 %
② 閲覧したことがない	543 人	96.4 %	96.9 %
計	563 人	100.0 %	



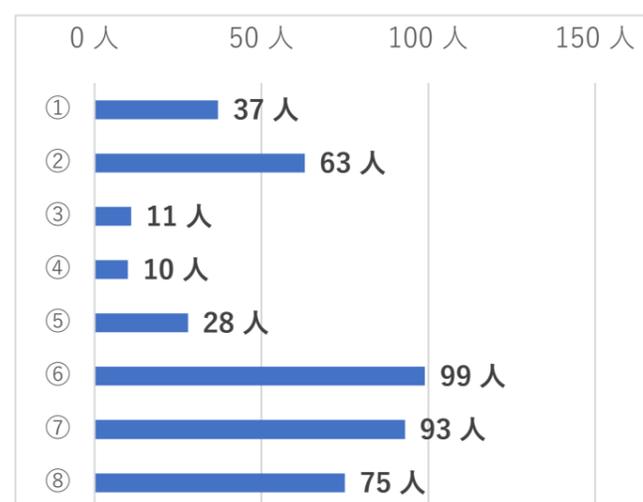
問 18 最近一年間で小城市民図書館（小城館・三日月館・牛津分室・芦刈分室・自動車図書館）を利用したことがありますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① 利用したことがある	229 人	40.7 %	42.0 %
② 利用したことがない	334 人	59.3 %	58.0 %
計	563 人	100.0 %	



問 19 小城市民図書館を利用したことがない理由はなんですか？（複数回答可）

理由	回答者数	構成比	前回調査
【問 18】②利用したことがない <u>334 人</u>			
① 利用したい図書やCD・DVDなどが無い	37 人	11.1 %	—
② 開館日、開館時間が生活スタイルと合わない	63 人	18.9 %	—
③ 交通手段がなく図書館へ行くことができない	11 人	3.3 %	5.6 %
④ 館内環境（座席・雰囲気など）が好きではない	10 人	3.0 %	4.1 %
⑤ 施設の場所がわからない	28 人	8.4 %	15.0 %
⑥ 書店などで購入するので利用する必要がない	99 人	29.6 %	31.0 %
⑦ 新型コロナウイルス感染拡大のため利用を自粛した	93 人	27.8 %	—
⑧ その他	75 人	22.5 %	21.0 %
計	416 人		

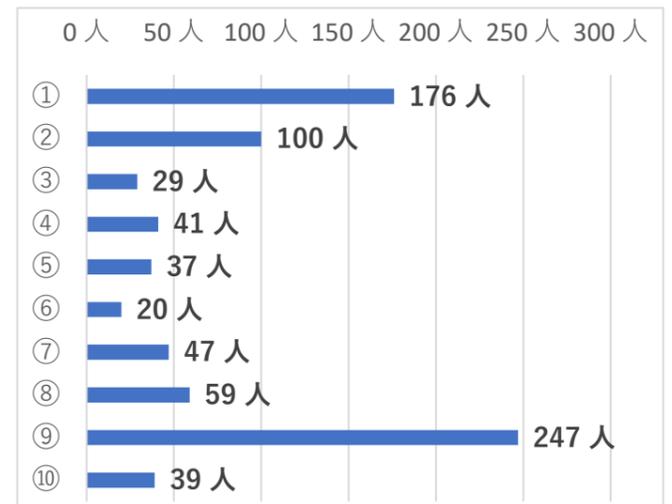


その他記述

必要な情報はネットで得られる（検索ができる） 行く機会がない 佐賀市立図書館を利用している
新型コロナウイルスの影響で使える机が減り、学習場所としての魅力がなくなった 図書館があることを知らなかった
Wi-Fi 環境が整っていない 仕事・育児などで時間がとれない 子どもがまだ小さいので連れていきたくない 必要性がない
足が不自由なため行くのが大変 読書に興味がない 興味がない 特になし 無回答

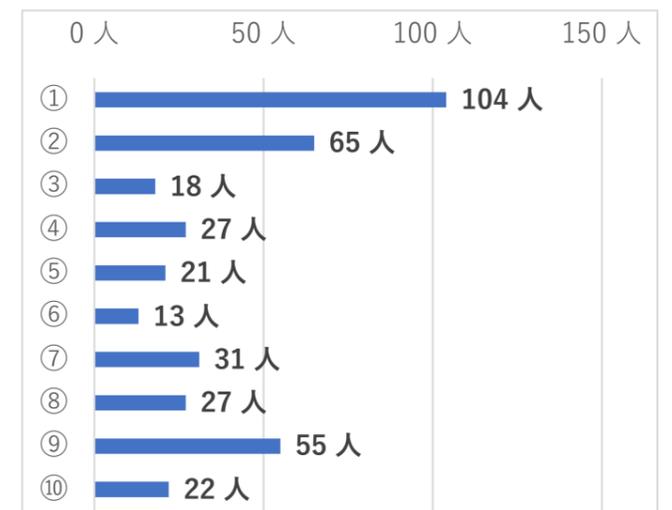
問 20 小城市民図書館に対してどんな要望がありますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 幅広い様々なジャンルの本を入れてほしい	176 人	31.3 %	—
② 図書やCD・DVDなどの数を増やしてほしい	100 人	17.8 %	—
③ 読書に関する案内や相談業務の充実	29 人	5.2 %	9.6 %
④ 児童書（絵本含む）の充実	41 人	7.3 %	11.1 %
⑤ 郷土に関する資料の充実	37 人	6.6 %	8.5 %
⑥ 自動車図書館による市内巡回貸出しの充実	20 人	3.6 %	4.4 %
⑦ 開館日や開館時間の変更	47 人	8.3 %	—
⑧ 講座などの開催	59 人	10.5 %	11.1 %
⑨ 特に要望はない	247 人	43.9 %	38.4 %
⑩ その他	39 人	6.9 %	13.3 %
計	795 人		



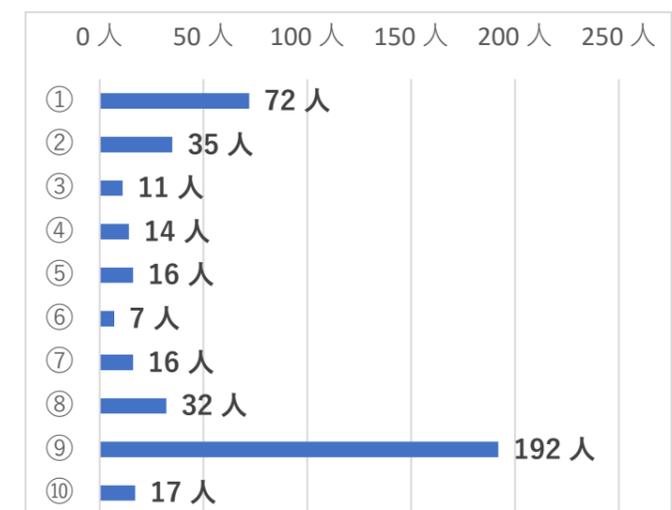
【問 18】①利用したことがある 229 人

	回答者数	構成比
① 幅広い様々なジャンルの本を入れてほしい	104 人	45.4 %
② 図書やCD・DVDなどの数を増やしてほしい	65 人	28.4 %
③ 読書に関する案内や相談業務の充実	18 人	7.9 %
④ 児童書（絵本含む）の充実	27 人	11.8 %
⑤ 郷土に関する資料の充実	21 人	9.2 %
⑥ 自動車図書館による市内巡回貸出しの充実	13 人	5.7 %
⑦ 開館日や開館時間の変更	31 人	13.5 %
⑧ 講座などの開催	27 人	11.8 %
⑨ 特に要望はない	55 人	24.0 %
⑩ その他	22 人	9.6 %
計	383 人	



【問 18】②利用したことがない 334 人

	回答者数	構成比
① 幅広い様々なジャンルの本を入れてほしい	72 人	21.6 %
② 図書やCD・DVDなどの数を増やしてほしい	35 人	10.5 %
③ 読書に関する案内や相談業務の充実	11 人	3.3 %
④ 児童書（絵本含む）の充実	14 人	4.2 %
⑤ 郷土に関する資料の充実	16 人	4.8 %
⑥ 自動車図書館による市内巡回貸出しの充実	7 人	2.1 %
⑦ 開館日や開館時間の変更	16 人	4.8 %
⑧ 講座などの開催	32 人	9.6 %
⑨ 特に要望はない	192 人	57.5 %
⑩ その他	17 人	5.1 %
計	412 人	

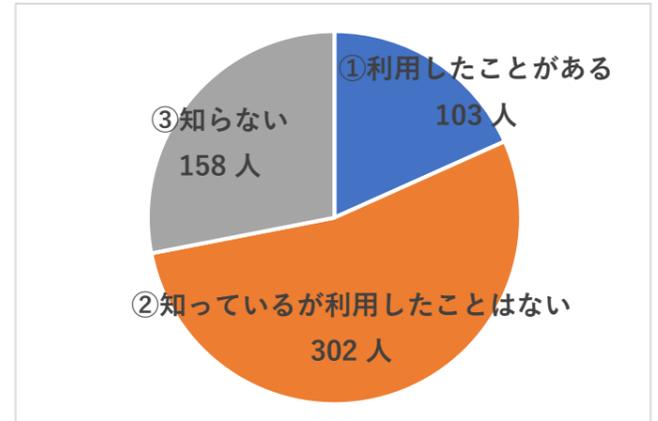


その他記述

フリー（勉強できる）スペースの拡大 英語の絵本や本など海外のものを増やしてほしい 学習スペースの増加
 インターネットで最寄りの図書館へ取り寄せが出来るようにしてほしい 館内の雰囲気や暗い 民間とのコラボ（スタバ・蔦屋）
 ゲーム、マイクラフト、プログラミング系の本を入れてほしい おはなし会の日時をかぶらないようにしてほしい
 ガーデニングの本、生活を豊かにする本 月曜日でも利用できるようにしてほしい 利用した事がないので分からない
 海外文学や専門書を増やしてほしい 無回答

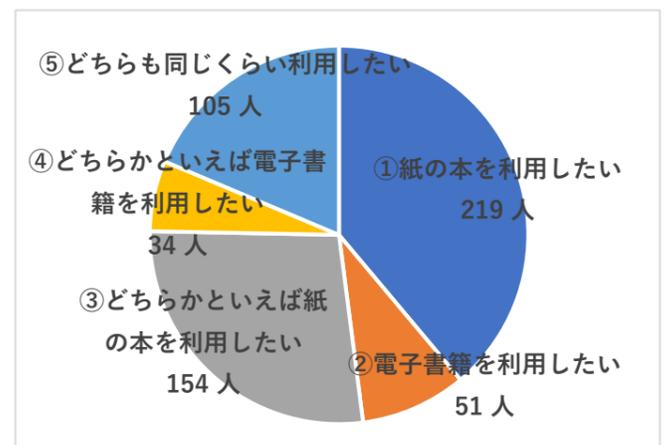
問 21 小城市民図書館には、愛称が「本丸くん」という自動車図書館があり、市内を巡回して図書の貸出しを行っているのを知っていますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① 利用したことがある	103 人	18.3 %	—
② 利用したことがない	302 人	53.6 %	—
③ 知らない	158 人	28.1 %	—
計	563 人	100.0 %	



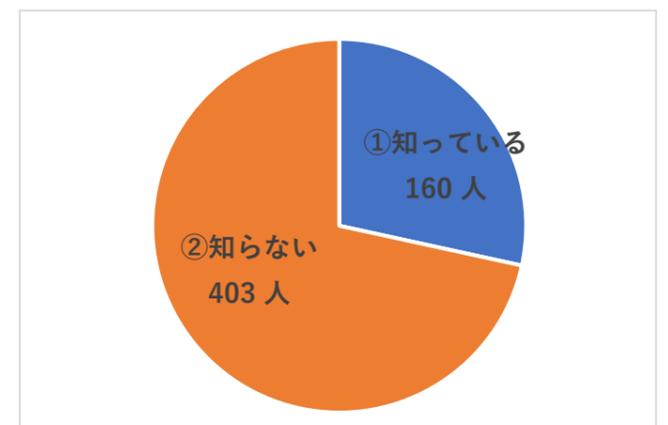
問 22 近年、紙ではなくパソコンや携帯電話などで読める電子書籍がありますが、今後、紙の本と電子書籍、どちらの方を利用したいと思いますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① 紙の本を利用したい	219 人	38.9 %	38.7 %
② 電子書籍を利用したい	51 人	9.1 %	6.4 %
③ どちらかといえば紙の本を利用したい	154 人	27.4 %	23.5 %
④ どちらかといえば電子書籍を利用したい	34 人	6.0 %	6.4 %
⑤ どちらも同じくらい利用したい	105 人	18.7 %	17.8 %
計	563 人	100.0 %	



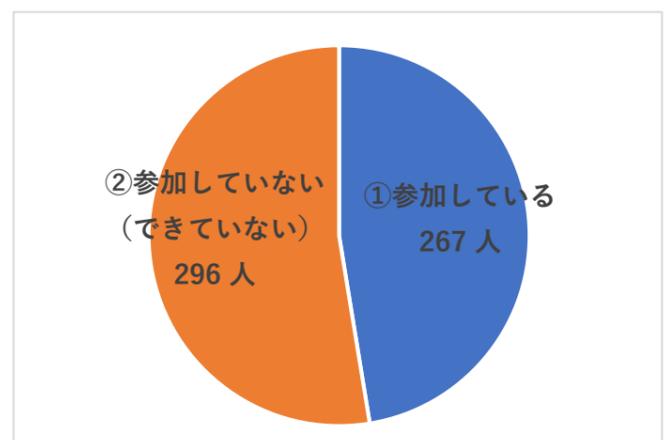
問 23 小城市民図書館にない資料を県内外の図書館から借りられるのを知っていますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① 知っている	160 人	28.4 %	29.5 %
② 知らない	403 人	71.6 %	70.5 %
計	563 人	100.0 %	



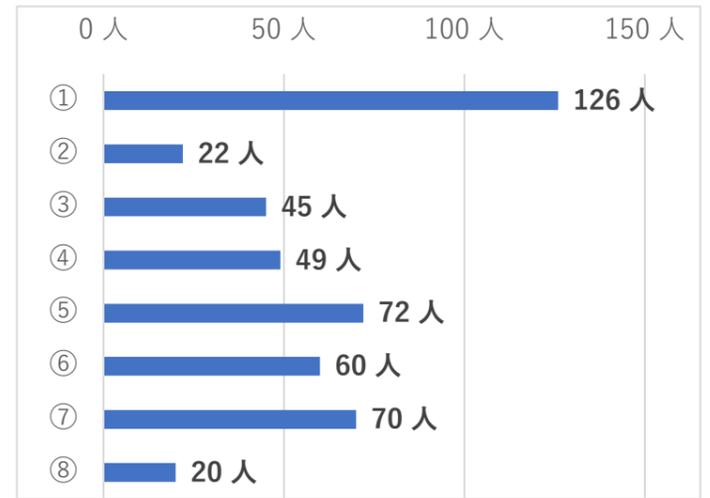
問 24 地域の行事や活動に参加していますか？

	回答者数	構成比	前回調査
① 参加している	267 人	47.4 %	54.0 %
② 参加していない（できていない）	296 人	52.6 %	46.0 %
計	563 人	100.0 %	



問 25 参加していない（できていない）理由を教えてください（複数回答可）

【問 24】②参加していない（できていない）	296 人	回答者数	構成比	前回調査
① 仕事や家事、学業が忙しくて時間がない	126 人	42.6 %	29.5 %	
② 子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	22 人	7.4 %	3.2 %	
③ 参加するために必要な情報がなかなか入手できない	45 人	15.2 %	8.9 %	
④ 一緒に参加する仲間がいない	49 人	16.6 %	11.1 %	
⑤ 参加するためのきっかけがつかめない	72 人	24.3 %	16.5 %	
⑥ 参加することが好きではない	60 人	20.3 %	11.1 %	
⑦ 特に理由はない	70 人	23.6 %	16.2 %	
⑧ その他	20 人	6.8 %	3.5 %	
計	464 人			

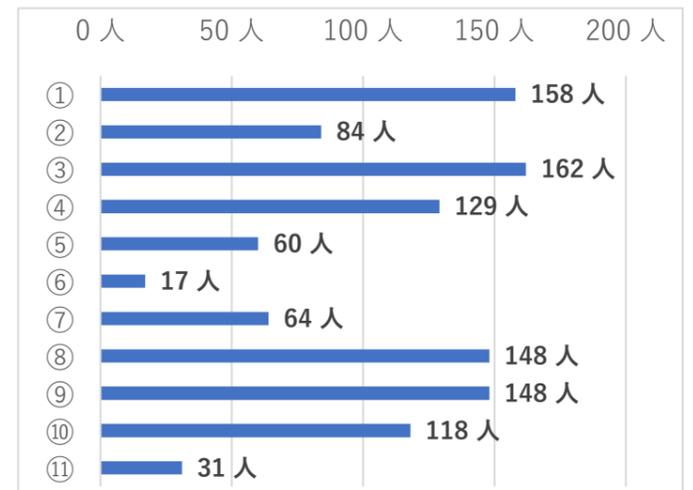


その他記述

お年寄りが多く若い人が少ないから 仕事をしながら衣食住の生活リズムを作ることで精一杯 家族が参加している
 体調があまりよくない コロナで中止ばかり 参加要請が無い 高齢のため 参加したいと思わせる事がない
 身障者のため 無回答

問 26 家庭教育の支援のために、何が必要だと思いますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 家庭教育に関する講座・講演・イベントなどの充実	158 人	28.1 %	22.2 %
② 家庭教育に関する学習資料の作成・配布	84 人	14.9 %	11.5 %
③ 家庭教育に関する情報提供の充実	162 人	28.8 %	26.2 %
④ 家庭教育に関する身近な相談体制の充実	129 人	22.9 %	21.3 %
⑤ テレビ・新聞などマスメディアによる広報	60 人	10.7 %	9.8 %
⑥ PTA活動の充実	17 人	3.0 %	3.5 %
⑦ さまざまな地域団体の活動の活性化	64 人	11.4 %	11.6 %
⑧ 保護者が家庭教育などの情報交換、仲間づくりなどができる環境づくり	148 人	26.3 %	27.3 %
⑨ 地域の住民同士のつながり・ネットワークづくり	148 人	26.3 %	27.6 %
⑩ わからない	118 人	21.0 %	16.7 %
⑪ その他	31 人	5.5 %	11.1 %
計	1,119 人		

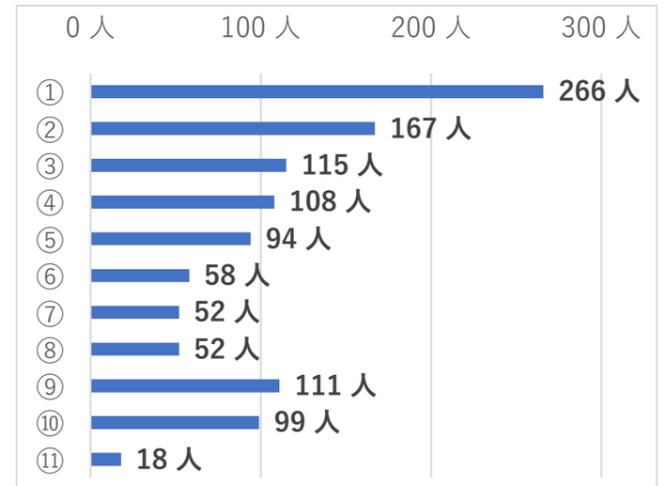


その他記述

時間とお金の余裕、教育に必要な資金 知りたいと思った時に簡単に知る事ができる環境 親の賃金 UP 産後ケア
 母親の家事負担の軽減、子どもと接する時間の増 家庭教育の定義がわからない インターネットを使った情報の公開
 人それぞれ支援してほしい内容がちがう コミュニティを自発的に作るスペース 貧困家庭への支援 土日祝に開催
 小学校にチラシを配る 保護者に時間がないといけないと思うので、少し休む時間を与えてほしい
 強制的ではないが家庭を巻き込んだ地域活動の充実 無回答

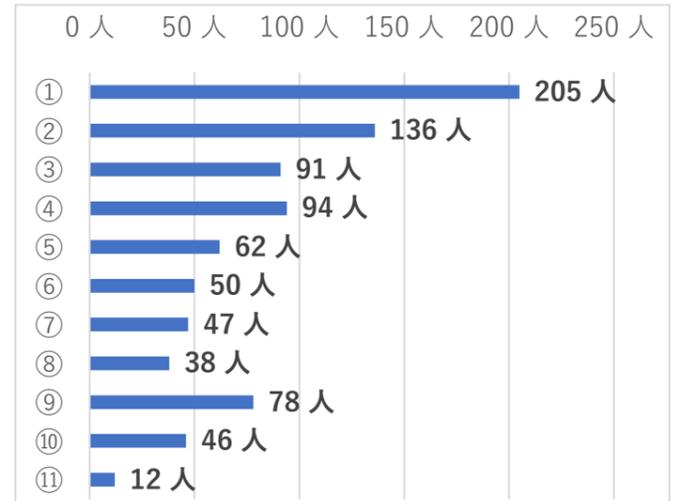
問 27 人々の「生涯学習」を進めていくために、市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか？（複数回答可）

	回答者数	構成比	前回調査
① 公民館、体育館、図書館などの生涯学習関連施設におけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、無料Wi-Fi設置など）	266人	47.2%	47.6%
② 生涯学習を始める人への支援の充実（サークル体験など）	167人	29.7%	31.3%
③ 生涯学習に関する専門職員の充実（社会教育主事、司書、学芸員、スポーツ推進委員など）	115人	20.4%	20.2%
④ 生涯学習を支援する地域人材の育成（学習相談、学習機会を計画するコーディネーターなど）	108人	19.2%	19.5%
⑤ 情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実	94人	16.7%	20.4%
⑥ 住民や学習団体のニーズ、満足度などの把握及び施策への反映	58人	10.3%	13.1%
⑦ 地域活動団体、青少年団体などのボランティア活動の活性化及び活動支援	52人	9.2%	12.2%
⑧ 生涯学習を通じて身につけた成果、その成果を活かした活動に対する社会的評価の促進（表彰、活動歴の履歴書記載など）	52人	9.2%	10.7%
⑨ 知識や技能を形として表せるような資格・検定などの充実	111人	19.7%	18.4%
⑩ 特になし	99人	17.6%	14.6%
⑪ その他	18人	3.2%	9.1%
計	1,140人		



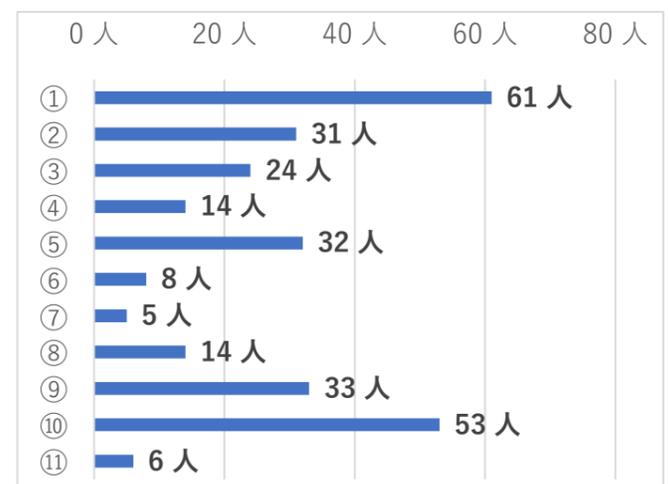
【問 2-1】①生涯学習をしたことがある 389人

	回答者数	構成比
① 公民館、体育館、図書館などの生涯学習関連施設におけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、無料Wi-Fi設置など）	205人	52.7%
② 生涯学習を始める人への支援の充実（サークル体験など）	136人	35.0%
③ 生涯学習に関する専門職員の充実（社会教育主事、司書、学芸員、スポーツ推進委員など）	91人	23.4%
④ 生涯学習を支援する地域人材の育成（学習相談、学習機会を計画するコーディネーターなど）	94人	24.2%
⑤ 情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実	62人	15.9%
⑥ 住民や学習団体のニーズ、満足度などの把握及び施策への反映	50人	12.9%
⑦ 地域活動団体、青少年団体などのボランティア活動の活性化及び活動支援	47人	12.1%
⑧ 生涯学習を通じて身につけた成果、その成果を活かした活動に対する社会的評価の促進（表彰、活動歴の履歴書記載など）	38人	9.8%
⑨ 知識や技能を形として表せるような資格・検定などの充実	78人	20.1%
⑩ 特になし	46人	11.8%
⑪ その他	12人	3.1%
計	859人	



【問 2-1】②生涯学習をしたことがない 174人

	回答者数	構成比
① 公民館、体育館、図書館などの生涯学習関連施設におけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、無料 Wi-Fi 設置など）	61 人	35.1 %
② 生涯学習を始める人への支援の充実（サークル体験など）	31 人	17.8 %
③ 生涯学習に関する専門職員の充実（社会教育主事、司書、学芸員、スポーツ推進委員など）	24 人	13.8 %
④ 生涯学習を支援する地域人材の育成（学習相談、学習機会を計画するコーディネーターなど）	14 人	8.0 %
⑤ 情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実	32 人	18.4 %
⑥ 住民や学習団体のニーズ、満足度などの把握及び施策への反映	8 人	4.6 %
⑦ 地域活動団体、青少年団体などのボランティア活動の活性化及び活動支援	5 人	2.9 %
⑧ 生涯学習を通じて身につけた成果、その成果を活かした活動に対する社会的評価の促進（表彰、活動歴の履歴書記載など）	14 人	8.0 %
⑨ 知識や技能を形として表せるような資格・検定などの充実	33 人	19.0 %
⑩ 特になし	53 人	30.5 %
⑪ その他	6 人	3.4 %
計	281 人	

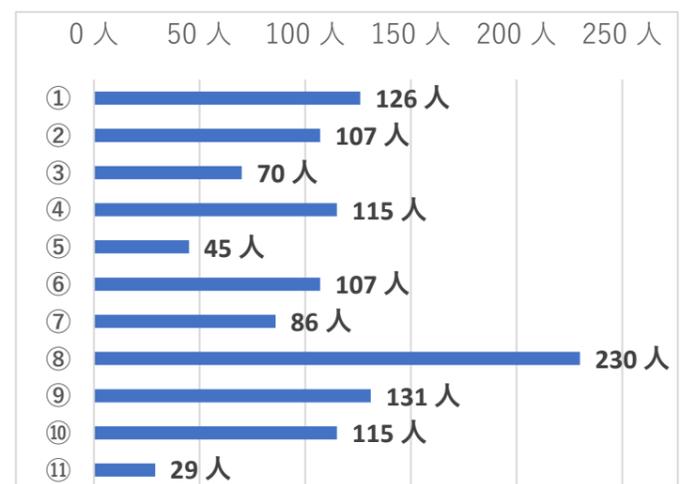


その他記述

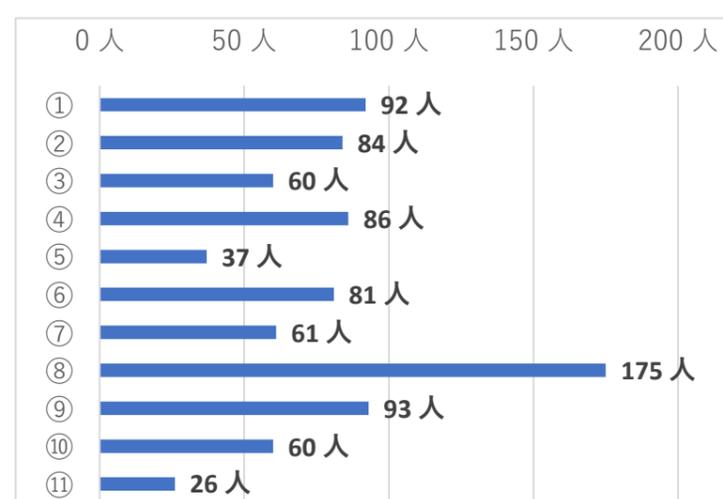
生涯学習が何なのかを説明すべき 定期的なアンケートの実施とフィードバック 市民一人ひとりの生涯学習への意欲向上
 デジタルコンテンツの拡充 行動したいが初心者なかなか参加できない 今の人たちのニーズをキャッチする
 インスタアカウントを作成し、フォロワーを増やす 無理して生涯学習を推進する必要はない 交通手段の支援（高齢者への送迎バスなど）
 無回答

問 28 学んでみたい講座は、どのような講座ですか？（複数回答可）

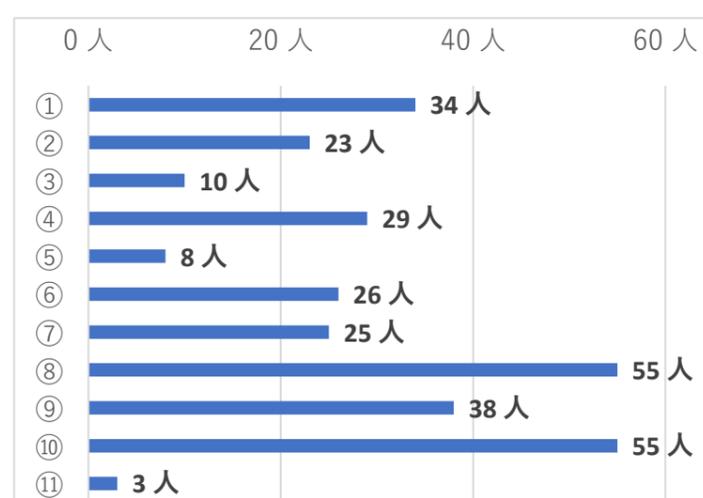
	回答者数	構成比	前回調査
① 福祉	126 人	22.4 %	14.4 %
② 環境	107 人	19.0 %	9.1 %
③ ボランティア	70 人	12.4 %	7.1 %
④ 防災	115 人	20.4 %	12.4 %
⑤ 人権	45 人	8.0 %	3.8 %
⑥ 情報化	107 人	19.0 %	10.9 %
⑦ 子育て	86 人	15.3 %	10.5 %
⑧ 健康	230 人	40.9 %	32.9 %
⑨ 年金	131 人	23.3 %	16.5 %
⑩ 特になし	115 人	20.4 %	22.0 %
⑪ その他	29 人	5.2 %	4.2 %
計	1,161 人		



【問 2-1】①生涯学習をしたことがある <u>389人</u>		
	回答者数	構成比
① 福祉	92人	23.7%
② 環境	84人	21.6%
③ ボランティア	60人	15.4%
④ 防災	86人	22.1%
⑤ 人権	37人	9.5%
⑥ 情報化	81人	20.8%
⑦ 子育て	61人	15.7%
⑧ 健康	175人	45.0%
⑨ 年金	93人	23.9%
⑩ 特になし	60人	15.4%
⑪ その他	26人	6.7%
計	855人	



【問 2-1】②生涯学習をしたことがない <u>174人</u>		
	回答者数	構成比
① 福祉	34人	19.5%
② 環境	23人	13.2%
③ ボランティア	10人	5.7%
④ 防災	29人	16.7%
⑤ 人権	8人	4.6%
⑥ 情報化	26人	14.9%
⑦ 子育て	25人	14.4%
⑧ 健康	55人	31.6%
⑨ 年金	38人	21.8%
⑩ 特になし	55人	31.6%
⑪ その他	3人	1.7%
計	306人	



その他記述

自然に関するも 農業 歴史 心理学 語学 音楽 パソコン eスポーツ 文化・芸術活動（陶芸、油絵、水彩画など）
 ハンドメイドを活かせるような販売方法などの講座 命の大切さや有難みなどを伝えられるような講座 趣味 健康スポーツ
 職業（就職） 介護 手話 料理教室 無回答

小城市生涯学習推進計画の策定に参画した社会教育委員の名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属 等
◎ 長崎 兼治	学識経験者
○ 高岸 巖	学識経験者
小柳 容子	学識経験者
相浦 充子	学識経験者
山口 昌子	学識経験者
永ノ間 康成	学識経験者
南里 ひろ子	学識経験者
松永 奈緒子	学識経験者
田中 慎也	学校関係者 (小城市 PTA 連絡協議会)
松尾 直人	学校関係者 (小城市 PTA 連絡協議会)
神崎 浩之	学校関係者 (小城市校長会)
江頭 直樹	学校関係者 (小城市校長会)

◎:委員長、○:副委員長

SDGs(持続可能な開発目標)と本計画との関係性

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで2030年までに達成することを目指し、採択された国際指標です。

持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17のゴールと169のターゲットで構成され、「地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)」を理念としています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◆ SDGs 17のゴール(出典:国際連合広報センターWEBサイト)

本計画における関連性の高いゴール



《 質の高い教育をみんなに 》



《 ジェンダー平等を実現しよう 》



《 住み続けられるまちづくりを 》



《 平和と公正をすべての人に 》



《 パートナーシップで目標を達成しよう 》

小城市生涯学習推進計画

令和5年3月

小城市教育委員会 生涯学習課

〒845-0021 小城市三日月町長神田 1845 番地

T E L 0952-72-1616

F A X 0952-72-1828

E - Mail syougaigakushuu@city.ogi.lg.jp